

平成23年度 予算(案)の概要

区民の暮らしを支え、
魅力と活力のある
まちづくりを進めます



平成23年2月17日
大田区

平成 23 年度予算（案）の編成にあたって

大田区の平成 23 年度予算については、区民の皆さまの暮らしに今何が求められているのかを、地域の中で多くの声を伺いながら、編成してまいりました。地域と行政が手を携え、魅力と活力にあふれ安全・安心に暮らせる地域社会の実現が図られるよう、区民生活に必要な不可欠な行政サービスを、安定的に継続して供給していくという強い想いを「予算」という形にすることができました。

世界経済に目を転じますと、失業率が依然として高水準にあるなど、引き続き深刻な状況にあります。わが国の経済も、物価の下落が続くデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が残り、依然として厳しい状況にあるといえます。日々めまぐるしく変わる経済状況の中で、先の見通しに対する不透明感が区民生活に広がっていると感じています。

区財政は、少子高齢化等に伴う社会保障関係経費や、道路や住宅といった区民生活を支える都市の機能を維持更新する経費などの財政需要が増大する傾向にある一方、特別区税など基幹収入に大幅な改善が望めない、これまでにない厳しい状況にあります。

こうした社会経済状況を踏まえ、区は、財政の健全性を将来にわたって確保するため、中期的な財政見通しのもとですべての施策を見直し、徹底した経費の精査を行いました。

地域の主体性がこれまでも増して重要となる時代、補助金の一括交付金化や、児童相談所が都から区に移管される方向で協議が進められようとしているなど、区を取り巻く状況にも変化があらわれています。区民生活に身近な施策は、地域の実情に応じて、地域の判断で実施すべきであると考えております。

昨年 10 月、羽田空港の再拡張・国際化が実現しました。世界と結ばれた大田区が、国際都市としてその着実な歩みを進めながら、行政と地域特性を活かした地域力との連携によって、区民の皆さま一人ひとりの日々の暮らしが豊かなものになったと実感していただけるよう、一層の取り組みを進めてまいります。


平成 23 年度の一般会計予算規模は、2,308 億 8 千万円余で、厳しい財政状況下においても、前年度比 41 億 2 千万円余、1.8%の増額予算としました。















この予算のスローガンを「区民の暮らしを支え、魅力と活力のあるまちづくりを進めます」と掲げ、区民の皆さまとともに力強く区政を進めてまいります。











平成 23 年 2 月

大 田 区 長

目 次

1	平成 23 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	持続可能な財政運営に向けた取り組み	9
3	財政規模	12
4	歳入の状況（一般会計）	13
5	歳出の状況（一般会計）	14
5-2	歳出の状況（目的別）	15
6	特別会計予算の特徴	16
7	基金の状況	17
8	大田区の経営改善	18
9	平成 23 年度の主な組織の改正について	18
	平成 23 年度 一般会計予算（案）集計表	19
(1)	歳入（款別）	19
(2)	歳出（款別）	20
10	事業説明資料	21
(1)	健康・福祉・医療	
1	おおた健康プランの推進 	22
2	子宮頸がんワクチン接種費用の助成 新規	22
3	小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成 新規	23
4	小規模企業等健診費用助成	23
5	各種検診等の実施	24
6	大田区総合体育館の建設  	25
7	大田スタジアム等区立スポーツ施設の改修	26
8	（仮称）大田区スポーツ振興計画の策定 新規	27

9	地域密着型サービス施設整備の支援	28
10	都市型軽費老人ホームの整備促進 新規	29
11	知的障害者通所施設まごめ園施設整備助成及び仮園舎の設置 新規	30
12	福祉有償運送運行団体への助成 新規 	31
13	ユニバーサルデザインのまちづくり 新規  	32
14	ユニバーサルデザイン合同点検 	33
15	高齢者・障がい者の安全・安心な移動を支援する計画づくり (（仮称）大田区移動等円滑化推進計画の策定) 新規 	34
16	在宅医療連携推進事業 新規 	35
17	犬のしつけ方教室 新規 	36
(2) 子育て・教育		
1	待機児対策の充実	37
2	民間保育所に対する「一時預かり事業費」助成の新設 新規	38
3	育児サポーター派遣事業（養育支援家庭訪問事業）	39
4	すこやか赤ちゃん訪問事業	40
5	子育て力向上支援事業 	41
6	東京工業大学等との連携による理科教育の推進 新規  	42
7	中学生の海外派遣 	43
8	学校運営システムの開発・運用	44
9	嶺町小学校の改築	45
(3) 安全・安心		
1	防犯カメラの設置助成 新規 	46
2	災害本部体制の充実 	47
3	防災行政無線（固定系）の更新 	48
4	民間建物の耐震診断・改修助成制度 新規	49

5	住宅リフォーム助成 新規 	50
6	橋梁の補修	51
7	橋梁の架替整備	52
8	橋梁の耐震整備	53
 (4) 産業・環境		
1	中小企業都市連絡協議会（中小企業都市サミット）の開催         	

4	多文化共生施策の推進	☺☺✚	71
5	萩中集会所リニューアルオープン	☺☺	72
6	蒲田駅周辺のまちづくり	☺☺✚	73
7	大森駅周辺のまちづくり	☺☺✚	74
8	景観計画の策定	☺☺✚	75
9	地区まちづくりへの支援	新規 ☺☺	76
10	桜のプロムナードの整備	☺☺	77
11	自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画策定調査		78
12	大森駅東口自転車駐車場塗装改修工事		79
13	洗足池駅・大岡山駅放置防止指導業務委託		80
14	糀谷駅前環八自転車駐車場（無料制から登録制への移行）		81
15	蒲田陸橋（環八）の補修工事に伴う 蒲田駅西口環八下自転車等駐車場の整備		82
16	（仮称）南馬込二丁目緑地整備	新規	83

※ 事業説明資料については、表示単位未満を切り上げしています。

※ 増減率及び構成比などは、原則として各表内計数により計算しています。

※ 端数処理の関係で表の合計が合わない場合があります。

※ ☺☺ 地域力に関する事業には、このマークを表示しています。

※ ✚ 国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

平成23年度
予算(案)の概要

区民の暮らしを支え、魅力と活力のあるまちづくりを進めます

一般会計総額

2,308億8,219万円

(平成22年度比 1.8%増)

平成23年度予算案は、次の考え方をもとに編成しました。

- 1 区民の健康・福祉の充実と産業の活性化で、まちの元気をサポートします。
- 2 地域力を活かしたまちづくりを進め、「国際都市おおた」の魅力を高めます。
- 3 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年」を着実に推進します。

★は新規事業を含みます。
 ◎◎は地域力に関する事業を表します。
 †は国際都市をめざす事業を表します。

健康・福祉・医療

区民の健康づくりを支え、誰もが元気にいきいきと暮らせるまちをめざします。

- ★子宮頸がんワクチン接種費用の助成(2億7,529万円)
- ★小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成(3,408万円)
- ☆大田区総合体育館の建設(48億7,381万円)◎◎†
- ☆大田スタジアム等区立スポーツ施設の改修(3億1,568万円)
- ★(仮称)大田区スポーツ振興計画の策定(578万円)
- ★ユニバーサルデザインのまちづくり(1,039万円)
 - ・ユニバーサルデザインのまちづくり◎◎†
 - ・ユニバーサルデザイン合同点検◎◎
 - ・高齢者・障がい者の安全・安心な移動を支援する計画づくり◎◎
- ☆地域密着型サービス施設整備の支援(2億7,900万円)
- ★都市型軽費老人ホームの整備促進(1億8,000万円)
- ★知的障害者通所施設まごめ園の改築支援(1億4,932万円)
- ★在宅医療連携推進事業(1,000万円)◎◎
- ★犬のしつけ方教室(68万円)◎◎

子育て・教育

未来を担う「おおたっ子」がのびのびと育つ環境づくりを進めます。



すこやか赤ちゃん訪問事業

- ☆待機児童対策の充実(22億4,825万円)
- ☆子育て家庭訪問事業(3,724万円)
 - ・育児サポーター派遣事業
 - ・すこやか赤ちゃん訪問事業
- ★民間保育所に対する「一時預かり事業費」助成の新設(105万円)
- ★東京工業大学等との連携による理科教育の推進(1,247万円)◎◎†
- ☆中学生の海外派遣(2,823万円)†
- ☆学校運営システムの開発・運用(1億8,295万円)

観光・文化

羽田空港の国際化や、六郷用水・馬込文士村等の地域文化を活かしながら大田区が持つ魅力を区内外に発信します。



開削から400年目を迎えた六郷用水

馬込文士村のレリーフ

- ☆おおたの観光魅力創出事業(5,054万円)†
 - ・観光案内サイン推進事業
 - ・観光イベントへの支援
 - ・ガイド養成講座実施支援
 - ・品川・大田地域観光まちづくり事業支援
- ☆観光情報の提供†(3,293万円)

産業・環境

大田区の活力の源である産業を応援します。「環境先進都市おおた」をめざします。



日本工学院専門学校と協力してつくった オーちゃんマドレーヌ

- ☆中小企業都市サミットの開催(127万円)◎◎†
- ★新製品・新技術開発支援事業(1億160万円)
- ☆区内工場立地・操業環境整備助成事業(1億3,501万円)†
- ☆海外への展開(2,835万円)
 - ・海外取引相談事業†
 - ・海外見本市の出展支援†
- ☆商店(飲食店)表彰制度「OTA!いちおしグルメ」事業(432万円)◎◎†
- ☆環境基本計画の策定(1,132万円)◎◎
- ★みどりの充実(906万円)
 - ・18色の緑づくり支援◎◎
 - ・住民参加型植樹管理(おおた花街道)◎◎
 - ・緑の基本計画の推進◎◎

魅力あるまちづくり

区民が主体となって行う地域活動を応援して18色のまちづくりを推進し、大田区の魅力をさらに高めます。

- ☆蒲田駅周辺のまちづくり(2,947万円)◎◎†
- ☆大森駅周辺のまちづくり(2,141万円)◎◎†
- ☆団体支援とネットワークの強化(3,224万円)◎◎
 - ・地域力応援基金助成事業
 - ・協働推進講師派遣事業
 - ・区民活動情報サイトの運営
- ☆多文化共生施策の推進(2,431万円)◎◎†
 - ・「リビングガイド」多言語版の発行
 - ・多文化共生推進センターの運営
- ☆萩中集会所リニューアルオープン(7億645万円)◎◎
- ★地区まちづくり支援(994万円)◎◎

安全・安心

いざという時に備え、日頃からの対策を充実します。

- ☆防災行政無線(固定系)の更新(4億5,925万円)◎◎
- ★防犯カメラの設置助成(1,242万円)◎◎
- ★住宅リフォーム助成(2,011万円)◎◎
- ☆橋梁の整備(13億9,350万円)
 - ・橋梁の架替整備
 - ・橋梁の耐震整備
 - ・橋梁の補修
- ★民間建物の耐震診断・改修助成制度(1億3,332万円)

地域力

地域力の源は区民一人ひとりの力です。この力が結びつくことでより大きな地域力が生まれ、それを区政に活かすことで、誰もが暮らしやすいまちが実現します。

大田区は地域活動を積極的に応援しています。平成22年度は、地域力応援基金助成事業として、24の区民活動団体等に助成しました。さらに、地域活性化事業として、自治会・町会に助成を行うなど、地域力を高める施策を積極的に展開してきました。引き続き、区民主体の地域活動を応援します。



国際都市

羽田空港の国際化により、大田区は日本の玄関口となりました。大田区を訪れる外国人に向けて、大田区の魅力を積極的にアピールします。また、外国人にとっても暮らしやすいまちをつくりたい。

平成22年度は、国籍をこえて理解し合える多文化共生社会を実現するため、多文化共生推進センターを開設しました。また、「国際都市おおた」の実現に向け、「羽田グローバルエキスポ」イベントや「国際都市おおた」シンポジウムを開催しました。羽田空港国際化を機に、外国人へのおもてなしの機運が高まり、地元商店街でも商品開発をするなどの取り組みが始まっています。引き続き、地域の活力を活かした「国際都市おおた」を推進します。



1 平成 23 年度予算編成の基本的な考え方

【編成方針】

平成 23 年度予算は、

「区民の暮らしを支え、 魅力と活力のあるまちづくりを進めます」

と位置づけ、次の視点を基本に編成しました。

視点

～ 区内経済と区民生活に必要な不可欠な行政サービスの安定供給 ～

- 社会経済動向や区民ニーズを的確に把握するとともに、新たな行政需要や「おおた未来プラン 10 年」に掲げた施策を着実に推進します。
- 地域のつながりを育み、地域で健やかに安心して暮らせるよう、高齢者や障がい者の暮らしを守り、子育てや教育への支援充実など生活に密着した施策を着実に展開します。
- 地域が活力を取り戻し、豊かで魅力ある都市を未来へ贈るために、羽田空港の国際化を契機に、おおたの魅力を国内外に発信する観光施策に取り組みます。環境にやさしい身近な地域づくりや区内産業の発展に向けた施策のほか、多くの人々が日々利用する公共施設や道路・橋などの都市基盤施設の維持更新を適切に進め、区内経済の発展と安全・安心を確保します。

～ 将来を見据え区財政の健全性を確保 ～

- 区が直面する厳しい財政環境にも正面から立ち向かい、施策の見直しや再構築を進め、経常経費を大胆に精査するなど、区民サービスの安定供給と中期的に見込まれる財源不足に対応し、区民生活を力強く支えます。

2 持続可能な財政運営に向けた取り組み

区は、特別区税・特別区交付金の基幹財源に大きな好転を期待できない中で、少子高齢化や雇用環境の悪化がもたらす社会保障費等の義務的経費が増大するなど、厳しい財政環境に直面しています。

社会経済情勢が厳しさを増す状況だからこそ、区内経済や区民生活に必要な行政サービスは、時機を逸することなく、安定的に継続して供給する必要があります。

平成23年度予算編成にあたっては、こうした財政環境の中でも、区が抱える財政需要に的確に応え、「おおた未来プラン10年」に掲げた施策を着実に推進していくため、既存施策の見直しや再構築を進め、経費縮減に向けた内部努力を全庁あげて徹底することで、財源の確保に努めました。

財政規律を重視し、基金は、残高に留意しながら財源として活用するとともに、特別区債は、将来負担を見据えて適切に活用しました。

今後とも区は区民に最も身近な基礎自治体としての使命を積極的に果たしていきます。

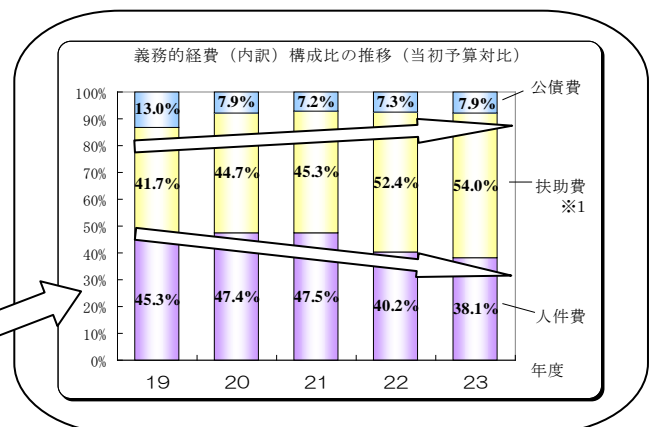
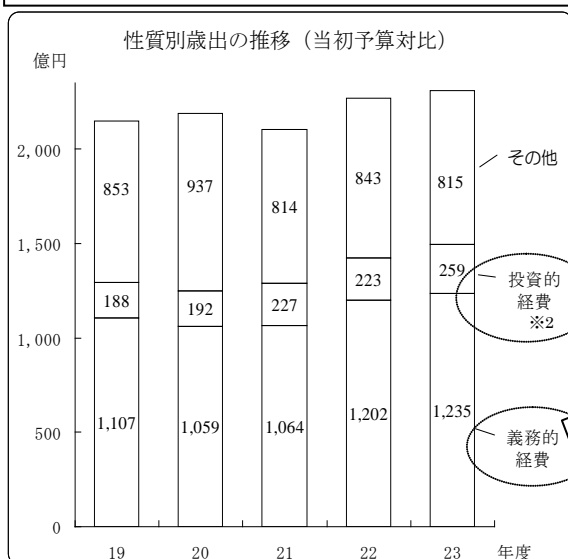
区が抱える財政需要

<扶助費※1>

社会保障関係経費である障害者自立支援給付費や生活保護費などの扶助費が増加傾向にあり、義務的経費に占める割合がさらに増加しています。

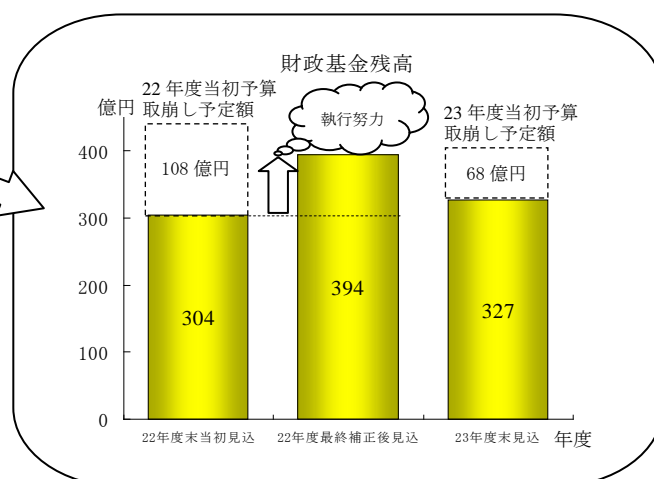
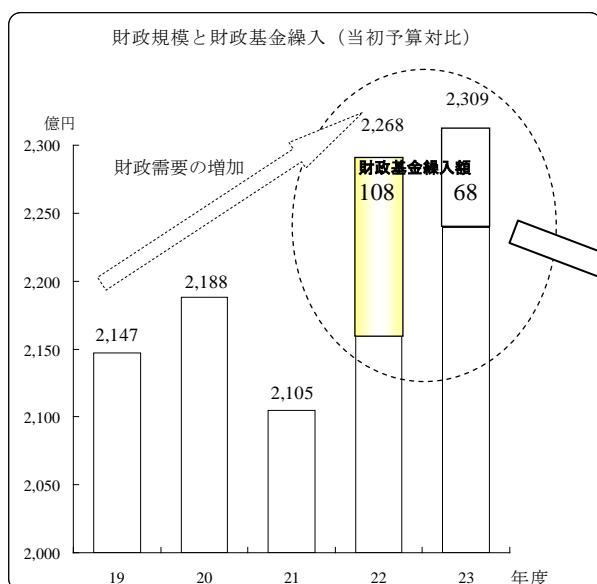
<投資的経費※2>

公共施設の耐震性や安全性を高める改築・改修を行うとともに、道路や橋りょうなどの都市基盤の維持更新も計画的に推進する必要があります。



拡大する財政規模と財政基金の活用

- 財政需要の増大に伴い財政規模が拡大する中で、特別区税・特別区交付金の基幹財源は微増にとどまる厳しい財政環境に直面しています。
- こうした状況でも、区民生活に不可欠な行政サービスは、安定的に継続して供給していくという強い決意のもと、歳出を厳しく精査することで財政基金の活用を必要最少限にとどめました。
- 効率的な予算執行に努めることで経費節減を図るとともに、平成22年度において、前年度決算確定に伴う剰余金を活用することで、財政基金残高を確保しました。
- 今後とも将来にわたり健全な区財政が維持できるよう、中期的な視点をもって財政運営を進めていきます。



中期財政の見通しと効果的な財源配分

- 平成22年6月時点における中期財政の見通しでは、平成23年度当初予算において148億円程度の財源不足が見込まれ、歳入の確保や経費節減の内部努力を徹底する全庁をあげた取り組みを進めました。
- 歳入面では、収納強化や納付機会の拡大に取り組みます。区の基幹財源である特別区税や特別区交付金は、これまで国・都・区が積極的に取り組んできた景気対策効果も背景に、前年度比1.1%の増となりました。
これらのほか積立基金の有効活用や、将来世代との負担の均衡と財政負担を考慮しながら、総合体育館建設経費などに起債を活用し、必要な施策を着実に実行できる財源を見込みました。
- 歳出面では、義務的経費である扶助費や国民健康保険・介護保険などの特別会計への繰出金といった社会保障関係経費は、中期財政見通しを上回ったものの、既存事業の一つひとつを見直すとともに、経常的な事務経費の節減などの内部努力の徹底によって、当初推計の財源不足見込額を縮減しました。

平成23～25年度の財政見通し

(単位:億円)

区 分	平成22年度 当初予算	平成23年度 予算案	平成23年度 当初推計	平成24年度 推計	平成25年度 推計
歳入合計(A)	2,160	2,241	2,175	2,183	2,167
特別区税	660	661	673	685	689
特別区交付金	578	590	575	575	575
特別区債	31	38	38	39	28
その他の歳入	891	1,020	889	884	875
歳出合計(B)	2,268	2,309	2,323	2,340	2,298
義務的経費	1,201	1,235	1,209	1,214	1,199
うち人件費	483	471	475	467	457
うち扶助費	630	666	637	647	657
うち公債費	88	98	97	100	85
投資的経費	223	259	272	281	250
特別会計繰出金	179	203	181	184	187
その他の歳出	665	612	661	661	661
財源不足見込額	△ 108	△ 68	△ 148	△ 157	△ 131

※平成22年度当初予算及び23年度予算案は、財政基金繰入を含めていません

※平成23～25年度推計は、財政基金繰入や繰越金など一部の歳入を含めていません

3 財政規模

- 一般会計の予算規模は、前年度比 1.8%増の 2,309 億円となりました。厳しい社会経済状況を反映した扶助費や特別会計への繰出金を中心とした社会保障関係経費、区内経済の発展と区民の安全・安心を確保する投資的経費が増額となる一方で、人件費や消耗品などの需用費、委託料などの経費を精査・節減しました。
- 歳入のうち、半分以上を占める特別区税と特別区交付金の合計は、前年度比 1.1%増の 1,251 億円と、小幅な増を見込みました。
- 歳出のうち、「おおた未来プラン 10 年」に掲げた施策を着実に推進するため、前年度比 3%増の 309 億円を計上しました。予算規模 2,309 億円の約 13%を占める結果となっています。

【一般会計】

(単位：億円、%)

区 分	23 年度	22 年度当初	増減額	増減率
歳 入	2,309	2,268	41	1.8
うち特別区税+特別区交付金	1,251	1,238	13	1.1
歳 出	2,309	2,268	41	1.8
うち計画事業予算	309	300	9	3.0

【全会計】

(単位：億円、%)

区 分	23 年度	22 年度当初	増減額	増減率
一 般 会 計	2,309	2,268	41	1.8
特別会計 [3 会計]	1,199	1,190	9	0.8
全会計合計 [4 会計]	3,508	3,458	50	1.4

※老人保健医療特別会計は、平成 22 年度末で経理を終了するため、会計の数には含めていません。

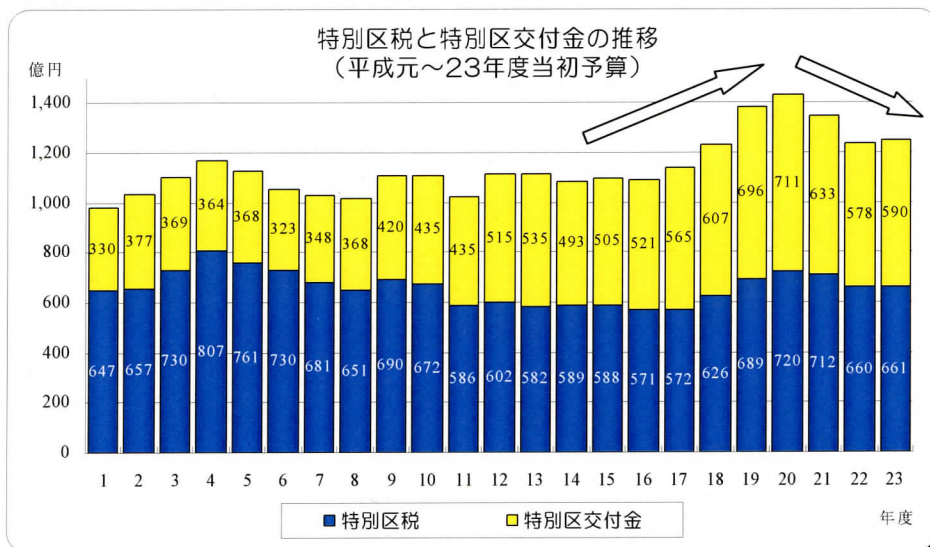
4 歳入の状況（一般会計）

- 特別区税は、特別区民税の微増や特別区たばこ税の減収を見込んだ結果、前年度比 0.2%増の 661 億円とほぼ同水準となりました。
- 特別区交付金（都区財政調整交付金）は、企業収益の改善傾向を反映し、前年度比 2.1%増の 590 億円と小幅な増となりました。しかし、海外景気の下振れやデフレの影響、雇用情勢の悪化などの懸念が依然として残るなど、財政環境の大きな改善は見込めない状況にあります。
- 国庫支出金は、国庫負担金のうち福祉費負担金で生活保護費負担金や障害者自立支援給付費負担金が増えた影響などにより、前年度比 5.7%増の 409 億円を計上しています。
- 特別区債は、大岡山駅周辺地区の整備や大田区総合体育館建設などに活用するため 38 億円を計上しました。

【歳入の状況】

（単位：億円、%）

区 分	23 年度	22 年度当初	増減額	増減率
特 別 区 税	661	660	1	0.2
特 別 区 交 付 金	590	578	12	2.1
使用料及び手数料	69	75	△6	△8.0
国 庫 支 出 金	409	387	22	5.7
都 支 出 金	110	105	5	4.8
特 別 区 債	38	31	7	22.6
そ の 他	432	432	0	0.0
合 計	2,309	2,268	41	1.8



5 歳出の状況（一般会計）

- 義務的経費は、33億円の増となっています。
 - 人件費は、職員定数削減や給料の減額改定などにより全体で2.5%、12億円の減となっています。
 - 扶助費は、障害者自立支援給付や生活保護世帯の増加などを反映して5.7%、36億円の増となっています。
 - 公債費は、償還期限を迎える満期一括償還方式などの特別区債の増により11.4%、10億円の増となっています。

- 投資的経費は、36億円の増となっています。

地域で健やかに安心して暮らしていただくために、区立保育園の新築・改築や特別養護老人ホーム整備への助成を進めるほか、学校施設の緑化にも取り組みます。

また、安全・安心な活力ある都市を未来へ贈るため、平成24年6月の開館に向けた大田区総合体育館の建設、ものづくり企業への立地支援、道路や橋りょうの維持補修・耐震化といった都市基盤施設の長寿命化などを進めます。その着実な取り組みは、新たな雇用や需要を創出し、区内経済を下支えする効果が期待できます。

- その他の経費は、28億円の減となっています。

医療や介護など社会保障給付に伴う特別会計への繰出金が24億円の増となる一方、事務事業を検証・評価し、全庁をあげて徹底した経費削減に努めた結果、3.3%、28億円の減を実現しました。

【歳出の状況】

(単位：億円、%)

区 分	23年度	22年度当初	増減額	増減率
義務的経費	1,235	1,202	33	2.7
うち人件費	471	483	△12	△2.5
うち扶助費	666	630	36	5.7
うち公債費	98	88	10	11.4
投資的経費	259	223	36	16.1
その他の経費	815	843	△28	△3.3
合計	2,309	2,268	41	1.8

5-2 歳出の状況（目的別）

- 地域の振興のため地域力の向上を図る予算として 83 億円を計上しました。地域の発展に重要な役割を担う自治会・町会への助成や、消費者生活相談、防災市民組織・消火隊への助成を含む防災対策など多岐にわたる内容となっています。
- 福祉と保健の予算は、前年度比 3.4%、41 億円の増となっています。主な増要因は、区立保育園の新築・改築、都市型軽費老人ホームの整備、子宮頸がんや小児肺炎球菌ワクチン接種費用助成、国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計への繰出金や生活保護費など扶助費の増などとなっています。
- 区政の運営の予算は、職員人件費や情報システム関係経費など内部努力を徹底することで、前年度比 13.9%、40 億円減を実現し、福祉と保健、産業と観光、まちづくり、環境と清掃、教育とスポーツなどの区民サービスに必要な財源に、可能な限り振り向けるよう努めました。

【目的別歳出の状況】

（単位：億円、%）

区 分	23 年度		22 年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
地 域 の 振 興	83	3.6	89	3.9	△6	△6.7
福 祉 と 保 健	1,248	54.0	1,207	53.2	41	3.4
産 業 と 観 光	33	1.4	31	1.4	2	6.5
ま ち づ く り	245	10.6	231	10.2	14	6.1
環 境 と 清 掃	104	4.5	108	4.8	△4	△3.7
教 育 と ス ポ ー ツ	250	10.8	226	10.0	24	10.6
区 政 の 運 営	248	10.7	288	12.7	△40	△13.9
区 債 の 償 還	98	4.2	88	3.9	10	11.4
合 計	2,309	100.0	2,268	100.0	41	1.8

6 特別会計予算の特徴

- 国民健康保険事業特別会計
 特定健康診査及び特定保健指導について、より受診しやすい工夫と一層のPRに努めるとともに、出産育児一時金については4万円の上乗せを引き続き実施します。
- 老人保健医療特別会計
 老人保健医療制度は、後期高齢者医療制度の創設に伴い平成20年3月31日をもって廃止され、過年度分の精算について、平成22年度末で特別会計での経理を終了します。
- 後期高齢者医療特別会計
 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の高齢者への適切な医療の確保を図り、医療費の適正化を推進するための計画作成及び保険者による健康診査を実施するため、平成20年度から創設されています。区は保険料の徴収や広域連合への医療費の納付などを行っています。
- 介護保険特別会計
 介護保険料の徴収や介護報酬の支払いを行うほか、介護予防事業にも積極的に取り組みます。平成23年度は、歳出の9割以上を占める保険給付費のうち、居宅介護サービス給付費や地域密着型介護サービス給付費などで増加し、全体として前年度比5.4%増となっています。

【特別会計】

(単位：億円、%)

区 分	23年度	22年度当初	増減額	増減率
国民健康保険事業	666	672	△6	△0.9
老人保健医療	—	0.2	△0.2	皆減
後期高齢者医療	124	130	△6	△4.6
介護保険	409	388	21	5.4
合 計	1,199	1,190	9	0.8

7 基金の状況

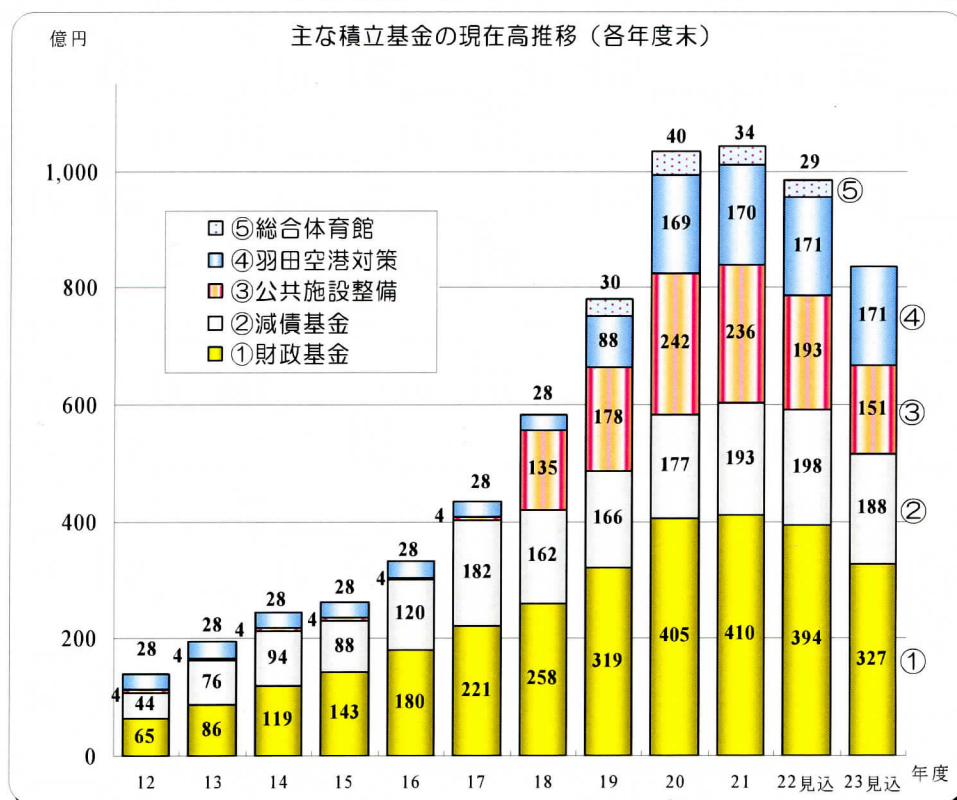
基金には、「年度間に差のある税収等の影響を最小限に抑えつつ、質の高い行政サービスを安定的に提供する」という重要な財源調整機能があります。平成23年度末の主な積立基金現在高見込の合計は837億円で、同時点の区債現在高501億円を大きく上回っており、区財政は健全性を維持しているといえます。

○ 公共施設整備基金

老朽化した施設の更新には多額の経費が見込まれることから、将来に向けて活用できるよう、計画的に事業へ充当します。

○ 減債基金

原則として、満期に一括で返済する特別区債の元金を準備し、また、将来の公債費に充てる財源とするため、借入期間に対応した額を毎年度積み立てています。



(単位:億円)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度見込	23年度見込
主な積立基金現在高合計 A	141	194	245	263	332	435	583	781	1,033	1,043	985	837
① 財政基金	65	86	119	143	180	221	258	319	405	410	394	327
② 減債基金	44	76	94	88	120	182	162	166	177	193	198	188
③ 公共施設整備	4	4	4	4	4	4	135	178	242	236	193	151
④ 羽田空港対策	28	28	28	28	28	28	28	88	169	170	171	171
⑤ 総合体育館								30	40	34	29	—
特別区債現在高 B	1,299	1,257	1,183	1,113	1,058	939	804	698	636	600	549	501
基金現在高-区債現在高 A-B	△1,158	△1,063	△938	△850	△726	△504	△221	83	397	443	436	336

※基金現在高は年度末3月31日現在の数字に出納整理期間の増減も反映しています。

8 大田区の経営改善

平成 21 年度から平成 23 年度までを計画期間として策定した「大田行政経営プラン」に基づく、不断の行政経営改革を推進することで、健全な財政を維持しながら、基本計画である「おおた未来プラン 10 年」を着実に進めてまいります。

◇「大田行政経営プラン」(平成 21～23 年度)の概要

I 行政資源の有効活用による的確な区民サービスの提供

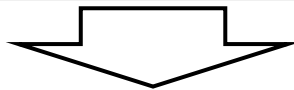
- 1 事務事業見直し(「事業仕分け」的手法による事務事業の総点検、職員定数の適正化等)
- 2 民間等のノウハウの活用(民間委託の検証及び適切な活用の推進、外郭団体の改革推進等)
- 3 新たな業務手法の取組み(窓口サービスの拡充、新たな財源確保策等の検討及び推進等)

II 区民との連携による地域力の向上

- 1 区民参画の拡大と地域との連携(区民意見公募手続制度の推進、地域力推進会議の活動支援等)
- 2 区政の透明性の向上(行政情報公開の推進、新たな行政評価制度の実施及び公表等)

III 職員力の発揮による組織の活性化

- 1 人材育成の推進(人材育成基本方針の改訂、職員提案制度の普及推進等)
- 2 能力開発・能力活用型職員配置の推進(職員配置の弾力的運用の検討等)
- 3 多様な任用形態の活用(経験者採用職員等のスキルの活用、再任用・再雇用の活用の検討等)



◇「大田行政経営プラン」(平成 22 年度)の主な取組み

- 「大田区における事務事業の検証・評価に関する基本方針」に基づく事務事業評価の実施
- 大田区職員定数基本計画(平成 23 年度～平成 25 年度)の策定
- 指定管理者モニタリング委員会の実施及びモニタリング制度の充実
- 大田区窓口サービス改善計画の検討及び策定
- 「人材育成基本方針(平成 22 年 1 月改訂)」に基づく人材育成の推進

9 平成 23 年度の主な組織の改正について

- まちづくりのキーワードのひとつである「国際都市」に向けた取り組みを推進・強化するため、「国際都市担当課長」を設置します。
- 蒲田駅及び大森駅周辺地区の共同化・再開発事業の体制を強化するため、「蒲田再開発担当課長」及び「大森再開発担当課長」を設置します。

平成23年度 一般会計予算（案）集計表

(1) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款		23年度		22年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	特別区税	66,123,222	28.6	66,030,608	29.1	92,614	0.1
	うち特別区民税	61,449,738	26.6	61,114,140	27.0	335,598	0.5
	うち特別区たばこ税	4,447,032	1.9	4,690,869	2.1	△ 243,837	△ 5.2
2	地方譲与税	1,863,001	0.8	1,951,000	0.9	△ 87,999	△ 4.5
3	利子割交付金	730,000	0.3	927,000	0.4	△ 197,000	△ 21.3
4	配当割交付金	239,000	0.1	277,000	0.1	△ 38,000	△ 13.7
5	株式等譲渡所得割交付金	131,000	0.1	128,000	0.1	3,000	2.3
6	地方消費税交付金	7,146,000	3.1	7,293,000	3.2	△ 147,000	△ 2.0
7	自動車取得税交付金	454,001	0.2	580,026	0.3	△ 126,025	△ 21.7
8	地方特例交付金	1,020,399	0.4	1,172,879	0.5	△ 152,480	△ 13.0
9	特別区交付金	59,031,200	25.6	57,758,229	25.5	1,272,971	2.2
10	交通安全対策特別交付金	97,000	0.0	100,955	0.0	△ 3,955	△ 3.9
11	分担金及び負担金	3,566,246	1.5	3,524,136	1.6	42,110	1.2
12	使用料及び手数料	6,892,384	3.0	7,499,878	3.3	△ 607,494	△ 8.1
13	国庫支出金	40,885,339	17.7	38,721,974	17.1	2,163,365	5.6
14	都支出金	11,015,406	4.8	10,498,414	4.6	516,992	4.9
15	財産収入	453,826	0.2	675,422	0.3	△ 221,596	△ 32.8
16	寄附金	273,245	0.1	299,750	0.1	△ 26,505	△ 8.8
17	繰入金	16,419,868	7.1	17,954,586	7.9	△ 1,534,718	△ 8.5
18	繰越金	2,000,000	0.9	2,000,000	0.9	0	0.0
19	諸収入	8,741,047	3.8	6,272,561	2.8	2,468,486	39.4
20	特別区債	3,800,000	1.6	3,100,000	1.4	700,000	22.6
合 計		230,882,184	100.0	226,765,418	100.0	4,116,766	1.8

(2)歳出(款別)


(単位:千円、%)


款		23年度		22年度当初		前年度比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1	議会費	1,258,452	0.5	989,905	0.4	268,547	27.1
2	総務費	29,991,477	13.0	34,550,190	15.2	△4,558,713	△13.2
3	福祉費	117,265,688	50.8	113,397,491	50.0	3,868,197	3.4
4	衛生費	7,554,559	3.3	7,242,065	3.2	312,494	4.3
5	産業経済費	3,273,453	1.4	3,107,914	1.4	165,539	5.3
6	土木費	15,423,533	6.7	14,910,473	6.6	513,060	3.4
7	都市整備費	9,099,479	3.9	8,181,448	3.6	918,031	11.2
8	環境清掃費	10,434,351	4.5	10,759,630	4.7	△325,279	△3.0
9	教育費	24,961,453	10.8	22,627,499	10.0	2,333,954	10.3
10	公債費	9,770,687	4.2	8,832,409	3.9	938,278	10.6
11	諸支出金	1,649,052	0.7	1,966,394	0.9	△317,342	△16.1
12	予備費	200,000	0.1	200,000	0.1	0	0.0
合計		230,882,184	100.0	226,765,418	100.0	4,116,766	1.8

10 事業説明資料

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 健康・福祉・医療 | P. 22～P.36 |
| (2) 子育て・教育 | P. 37～P.45 |
| (3) 安全・安心 | P. 46～P.53 |
| (4) 産業・環境 | P. 54～P.65 |
| (5) 観光・文化 | P. 66～P.67 |
| (6) 魅力あるまちづくり | P. 68～P.83 |

※ 金額は、表示単位未満を切り上げしていますので、「事業概要」欄の金額の合計と「予算額」欄の数値は一致しない場合があります。

※  地域力に関する事業には、このマークを表示しています。

※  国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

※ 新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

【1】健康・福祉・医療（1）

事業名	☺☺☺ おおた健康プランの推進
予算額	562万円
事業のねらい	区民一人ひとりの健康づくりの実践と合わせ、地域社会、区のそれぞれの力を活かしながら、区全体で健康づくりを支援しあう良好な関係を築き、区民が健康づくりを実践しやすい環境を作ります。
事業概要	<p>おおた健康プランを効果的かつ着実に推進するために、学識経験者、関係団体、公募委員を含む会議体を組織し、計画の進捗状況を把握・検証するとともに、事業の評価、見直し等を行っていきます。</p> <p>プランの主な事業：健康入浴大学 健康手帳の交付 健康相談、健康教育 等</p>
問合せ先	担当課 保健所 健康づくり課
	課長氏名 吉田 博 電話 5744-1600
	担当者氏名 中島 正 電話 5744-1661

【1】健康・福祉・医療（2）

事業名	子宮頸がんワクチン接種費用の助成 新規
予算額	2億7,529万円
事業のねらい	子宮頸がんは、国内における発症率が最近10年間で約3倍となっています。最も効果的な一次予防である子宮頸がんワクチンの接種費用を助成することで、健康的な暮らしを支援します。
事業概要	<p>区内の医療機関と定額の接種料金で委託契約を結び、接種費用の全額を区から助成します（自己負担なし）。</p> <p>1 対象年齢 中学1年生から中学3年生までの女子</p> <p>2 助成額 全額（一人3回まで）</p> <p>3 助成開始日 平成23年4月1日以降の接種</p>
問合せ先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 小田川 一雄 電話 5744-1261
	担当者氏名 行武 修 電話 5744-1263

【1】健康・福祉・医療（3）


事業名	小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成 新規
予算額	3,408万円
事業のねらい	予防接種の費用を一部助成し、肺炎球菌による髄膜炎等の発症を予防します。
事業概要	<p>区内の医療機関と接種に関する委託契約を結び、接種費用の一部を区から助成します（自己負担あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象年齢：接種日現在、生後2か月から2歳未満の乳幼児 2 助成額：4千円（一人4回まで） 3 助成開始日：平成23年4月1日以降の接種
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 小田川 一雄 電話 5744-1261
	担当者氏名 行武 修 電話 5744-1263

【1】健康・福祉・医療（4）

事業名	小規模企業等健診費用助成
予算額	1,873万円
事業のねらい	労働安全衛生法上の健康診断を実施した区内の小規模企業等に対して、その健康診断費用の一部を助成することにより、当該企業等の従業員の健康管理を支援します。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 助成の対象 区内の29人以下の小規模企業等の事業主が従業員に対して行う労働安全衛生法に基づく健康診断 2 助成金額 区内に勤務している従業員一人につき、年4,000円を上限に助成（申請は年度内において一人1回） 3 申請期間 受診日より1年以内
問合先	担当課 保健所 健康づくり課
	課長氏名 吉田 博 電話 5744-1600
	担当者氏名 中島 正 電話 5744-1661

【1】健康・福祉・医療（5）

<p>事業名</p>	<p>各種検診等の実施</p>
<p>予算額</p>	<p>18億2,666万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>平成22年度策定の「おおた健康プラン」に基づき、区民の主体的な健康づくりをサポートする総合的な健康づくり事業の一環として、ライフステージに応じた健康チェックのための各種検診を実施します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>各種疾患の早期発見及び早期治療のための検診等を実施し、区民の健康増進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本健康診査 5億1,355万円 ・胃がん検診 2億8,966万円 ・肺がん検診 1億7,102万円 ・大腸がん検診 1億0,312万円 ・子宮がん検診 2億4,199万円 ・乳がん検診 2億1,050万円 ・喉頭がん検診 6,108万円 ・前立腺がん検診 855万円 ・肝炎ウイルス検診 8,779万円 ・緑内障検診 2,160万円 ・39歳以下女性健康診査 3,715万円 ・39歳以下区民健康診査 499万円 ・成人歯科健康診査 7,572万円 等 <p>平成21年度から開始した「女性特有のがん検診推進事業」による乳がん・子宮がんの無料検診クーポン券配付事業も引き続き実施します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 保健所 健康づくり課</p> <p>課長氏名 吉田 博 電話 5744-1660</p> <p>担当者氏名 (基本健康診査)</p> <p>中島 正 電話 5744-1661</p> <p>(上記以外)</p> <p>井上 欣也 電話 5744-1265</p>

事業名	 大田区総合体育館の建設
予算額	48億7,381万円
事業のねらい	<p>新体育館は、平成24年6月末頃“開館”する予定で、区民がスポーツを「する」楽しみに加え、トップアスリートの試合を身近な場所で「みて」楽しめる施設にします。</p> <p>観客席を4,000席整備し、国際化した羽田空港から近い地の利を活かして、国際試合や全国大会等の誘致を進めていきます。</p>
事業概要	<p>1 施設の概要</p> <p>(1)建設地 東蒲田一丁目11番1号</p> <p>(2)敷地面積 約8,589㎡</p> <p>(3)延床面積 約13,970㎡</p> <p>(4)構造等 地上2階地下2階</p> <p>2 スケジュール概要（予定）</p> <p>平成23年度は、地上部及び内装、外構等の工事を行い、平成24年3月に竣工の予定です。</p> <p>(1)平成21年7月 着工</p> <p>(2)平成23年6月 指定管理者の指定</p> <p>(3)平成24年3月 竣工（予定）</p> <p>(4)平成24年6月末 開館（予定）</p> <p>3 建設予算（平成23年度）</p> <p>(1)建築工事費 48億4,541万円</p> <p>(2)工事監理委託費等 2,840万円</p>
問合先	担当課 教育総務部 社会教育課
	課長氏名 榎田 隆一 電話 5744-1446
	担当者氏名 北村 操 電話 5744-1448

【1】健康・福祉・医療（7）

<p>事業名</p>	<p>大田スタジアム等区立スポーツ施設の改修</p>
<p>予算額</p>	<p>3億1,568万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>区民の「健康増進、余暇活動の場であるスポーツ施設」を快適かつ安全に利用していただくために、施設の適切な維持修繕とライフサイクルコストの縮減を踏まえた修繕計画を策定し、「計画・整備・運営・管理」の総合的なマネジメントを行います。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 大田スタジアムの維持管理 2億3,500万円 ・大田スタジアムスコアボード等改修工事 地球環境に配慮した低消費電力施設のスコアボードに改修します。</p> <p>2 区立運動場管理運営費 4,358万円 ・平和の森公園テニスコート張替工事 平和の森公園テニスコートの人工芝を全面張替えます。 ・平和の森公園アーチェリー場ネット改修工事 平和の森公園アーチェリー場の防矢ネットを改修します。 ・運動場施設整備工事〔簡易水洗トイレ改修〕 多摩川緑地野球場トイレ2箇所のトイレタンク 500ℓを2,500ℓに改修します。</p> <p>3 施設の維持管理運営等 3,710万円 ・平和島・萩中公園水泳場修繕計画作成委託 各種設備の現況調査を行い、修繕計画を作成します。 ・東調布公園水泳場改修基本設計委託 水泳場全体の大規模な改修等の基本設計を行います。 ・萩中公園水泳場屋根防水等改修工事実施設計委託 屋根防水、外壁等の改修工事に関する実施設計を行います。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 川野 正博 電話 5744-1306 担当者氏名 藤澤 康文 電話 5744-1319</p>

【1】健康・福祉・医療（8）

事業名	(仮称)大田区スポーツ振興計画の策定 新規
予算額	578万円
事業のねらい	<p>区のスポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進していくため、スポーツ振興法に基づき策定します。</p> <p>平成24年の総合体育館の完成に合わせて策定し、スポーツ健康都市をめざします。</p>
事業概要	<p>策定スケジュール（予定）</p> <p>(1) 区民意識調査（平成23年5月頃）</p> <p>(2) パブリックコメントの実施（平成23年11月頃）</p> <p>(3) 公表（平成24年4月）</p>
問合先	担当課 教育総務部 社会教育課
	課長氏名 榎田 隆一 電話 5744-1446
	担当者氏名 藤田 元春 電話 5744-1447


【1】健康・福祉・医療（9）

事業名	地域密着型サービス施設整備の支援
予算額	2億7,900万円
事業のねらい	地域密着型サービス事業所の整備を促進するため、民間事業者等に対し、都助成金を活用した整備費の助成を行います。
事業概要	<p>1 小規模多機能型居宅介護事業 900万円 利用者の心身の状態や希望を踏まえて、一つの事業所で通所・訪問・短期入所サービスを組み合わせて提供する民間事業者等に対し、整備費の一部を助成します。</p> <p>(1) 対象件数 1件 (2) 助成額 (平成22～23年度実施) 3,000万円 平成22年度 2,100万円 平成23年度 900万円 (3) 開設 平成23年6月予定</p> <p>2 認知症対応型共同生活介護事業 2億7,000万円 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）を整備する民間事業者等を公募し、整備費の一部を助成します。</p> <p>(1) 対象件数 3件 (2) 助成額 1件あたり9,000万円 (3) 開設 平成23年度</p>
問合せ先	担当課 福祉部 高齢計画課
	課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1266
	担当者氏名 廣田 佳子・石渡 隆 電話 5744-1637


【1】健康・福祉・医療（10）

事業名	都市型軽費老人ホームの整備促進 新規
予算額	1億8,000万円
事業のねらい	<p>都市型軽費老人ホームとは、用地確保の困難な都市部において、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安がある低所得の高齢者が、低額な料金で入所できることを目的としたケア付きすまいです。</p> <p>民間事業者の参入を支援するため、国交付金と都補助金を活用した施設整備について助成を行い、整備促進を図ります。</p>
事業概要	<p>1 整備概要（予定）</p> <p>(1) 定員 20人規模</p> <p>(2) 主な利用条件 60歳以上で大田区に住民登録している低所得の方</p> <p>(3) 施設数 3施設</p> <p>(4) 場所 大田区内</p> <p>(5) 開設 平成24年度</p> <p>(6) 整備事業者 公募による</p> <p>2 助成額</p> <p>施設整備費助成 定員1人あたり300万円</p> <p>（運営する事業者が新たに建物を新築又は既存建築物を買い取り、改修して整備する場合の金額です。）</p>
問合先	担当課 福祉部 高齢計画課
	課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1266
	担当者氏名 平野 秀一 電話 5744-1449


事業名	まごめ園施設整備助成及び仮園舎の設置 新規														
予算額	1億4,932万円														
事業のねらい	<p>社会福祉法人大田幸陽会が主体となって行う知的障害者授産施設「まごめ園」の老朽化に伴う改築について、国庫補助及び都補助を活用しながら、その費用の一部について「大田区地域保健福祉計画」の「日中活動の充実」を推進することを目的に助成を行います。</p> <p>また、改築に伴う仮設建物等の整備についてもあわせて行います。</p>														
事業概要	<p>1 施設の概要</p> <p>(1) 所在地：中馬込二丁目3番</p> <p>(2) 仮園舎：南馬込一丁目59番9号</p> <p>(3) 定員：62名（現行37名から新たに重度障害者25名を受入れ予定）</p> <p>2 スケジュール概要（予定）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">平成23年5月</td> <td>仮園舎等改築工事</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>仮園舎へ移転（仮園舎運営：H23.10～H25.3）</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>本園舎既存建物解体及び建設工事</td> </tr> <tr> <td>平成25年1月</td> <td>本園舎竣工（予定）</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>本園舎開設（予定）</td> </tr> </table> <p>3 予算</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">(1) 施設整備費助成</td> <td style="text-align: right;">6,358万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 仮園舎の設置</td> <td style="text-align: right;">8,574万円</td> </tr> </table>	平成23年5月	仮園舎等改築工事	9月	仮園舎へ移転（仮園舎運営：H23.10～H25.3）	10月	本園舎既存建物解体及び建設工事	平成25年1月	本園舎竣工（予定）	4月	本園舎開設（予定）	(1) 施設整備費助成	6,358万円	(2) 仮園舎の設置	8,574万円
平成23年5月	仮園舎等改築工事														
9月	仮園舎へ移転（仮園舎運営：H23.10～H25.3）														
10月	本園舎既存建物解体及び建設工事														
平成25年1月	本園舎竣工（予定）														
4月	本園舎開設（予定）														
(1) 施設整備費助成	6,358万円														
(2) 仮園舎の設置	8,574万円														
問合先	担当課 福祉部 障害福祉課														
	課長氏名 今岡 正道 電話 5744-1686														
	担当者氏名 近藤 正樹 電話 5744-1700														


事業名	 福祉有償運送運行団体への助成 新規
予算額	67万円
事業のねらい	<p>障がい者、高齢者等を福祉車両等で移送するNPO法人に助成を行うことにより、これらの方々が通院・通所のみならずレジャー等に自由に外出できるよう支援します。</p>
事業概要	<p>福祉有償運送とは、NPO法人等が、障がい者、高齢者等のひとりで公共交通機関を利用することが困難な方を移送するサービスです。道路運送法の一定の要件を満たすことにより、自家用車を用いて有償で運送行為を行うことが認められています。</p> <p>現在区内ではNPO法人4団体が活動し、利用会員数は153人（平成22年3月31日現在）です。</p> <p>福祉有償運送の活動を支援することで担い手を増やし、利用を促進するため、運行を行うNPO法人等へ助成を行います。</p> <p>助成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン代相当額 運行距離1kmにつき10円 ・運転員講習会受講料 限度額：15,000円 補助率：10/10 ・運行管理の責任者就任費用 限度額：8,500円 補助率：10/10
問合先	担当課 福祉部 福祉管理課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1241
	担当者氏名 有我 孝之・富田 亜紀子 電話 5744-1244


【1】健康・福祉・医療（13）


<p>事業名</p>	<p>「ユニバーサルデザインのまちづくり」  ユニバーサルデザインのまちづくり 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">132万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>ユニバーサルデザインのまちの実現に向けた取り組みとして、（仮称）大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針に基づき、区民、事業者、地域のNPO・団体等が参加・参画する組織を整備し、またユニバーサルデザインの理解を進めるため小・中学校の総合的な学習の時間の支援を行います。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>1 （仮称）UD[*]区民検討会議の設置 84万円 区民、事業者、地域の関係団体、学識者等、区職員で構成し、ユニバーサルデザインのまちづくりに対する意見、評価等を行います。</p> <p>2 （仮称）UD[*]まちづくりサポーターの設置 19万円 ユニバーサルデザインのまちづくりに関心のある区民が事前に登録し、区内の施設、公園、道路、サービス等を点検します。 <small>*ユニバーサルデザインの略称</small></p> <p>3 総合的な学習の時間の支援（ユニバーサルデザインモデル事業）30万円 山王、馬込、池上地区の小・中学校で、心のユニバーサルデザイン（障がい者理解）を展開します。</p>												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">担当課</td> <td colspan="3">福祉部 福祉管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>田中 教彦</td> <td>電話</td> <td>5744-1241</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>立花 博一</td> <td>電話</td> <td>5744-1244</td> </tr> </table>	担当課	福祉部 福祉管理課			課長氏名	田中 教彦	電話	5744-1241	担当者氏名	立花 博一	電話	5744-1244
担当課	福祉部 福祉管理課												
課長氏名	田中 教彦	電話	5744-1241										
担当者氏名	立花 博一	電話	5744-1244										

【1】健康・福祉・医療（14）

事業名	<p>「ユニバーサルデザインのまちづくり」</p>  <p>ユニバーサルデザイン合同点検</p>
予算額	105万円
事業のねらい	<p>だれもが安心して快適に暮らせるまちを実現するため、「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針（22年度策定予定）」及び「（仮称）大田区移動等円滑化推進計画（策定中）」に基づき、ユニバーサルデザインの視点から、区民とともに点検を行います。</p>
事業概要	<p>1 ユニバーサルデザインのまちづくり合同点検 障がい者や地域の方と協力して、利用者の多い施設や施設間ルート等の点検を行います。</p> <p>2 ワークショップの実施 点検箇所の問題点や改善案について、話し合いの場を設け、意見交換を行います。</p> <p>3 点検報告会の開催 参加者の意見をもとにユニバーサルデザインのまちづくり整備を行い、整備状況を報告します。</p> <p>※区では、昨年まで「バリアフリー合同点検」として、道路・公園を中心とした同様の事業を展開してきましたが、「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」及び「（仮称）大田区移動等円滑化推進計画」の策定に伴い、今年度より参加対象者を拡大し、ユニバーサルデザインの視点から、より幅広い範囲の点検を行います。</p>
問合先	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p>
	<p>課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689</p>
	<p>担当者氏名 村橋 敬代 電話 5744-1304</p>

事業名	「ユニバーサルデザインのまちづくり」  高齢者・障がい者の安全・安心な移動を支援する計画づくり （（仮称）大田区移動等円滑化推進計画の策定） 新規									
予算額	802万円									
事業の ねらい	高齢者や障がい者が安心して円滑な移動等ができるよう、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」の基本構想制度を活用して、今までの点的な整備から面的な整備を推進するため、重点的に整備する地区を選定し、（仮称）大田区移動等円滑化推進計画を策定します。									
事業概要	平成23年度重点整備地区の推進計画を策定します。 1 （仮称）大田区移動等円滑化推進協議会 区全体のバリアフリー化促進に向け、区民及び障がい者団体代表者を始め鉄道事業者等関係者と重点整備地区の推進計画策定について協議します（年3回開催）。 2 策定に向けた調査等 （1）周辺区民の意向調査として、まち歩きやワークショップを開催 （2）既存施設の調査 3 特定事業の設定 区民の意見等を考慮した、整備事業計画を策定します。 4 重点整備地区 平成22年度に行った区民意識調査及び関係障がい者団体に行ったアンケートやヒアリングにより、重点整備地区を2か所選定します。 5 その他の地区 重点地区に準ずる優先地区から、地域力を活用しながら、バリアフリー化の促進を図ります。 6 策定スケジュール 平成23年度重点整備地区推進計画策定（A地区） 平成24年度重点整備地区推進計画策定（B地区）									
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 35%;">まちづくり推進部</td> <td style="width: 50%;">まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>伊藤 廉</td> <td>電話 5744-1331</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>落合 忠</td> <td>電話 5744-1303</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課	課長氏名	伊藤 廉	電話 5744-1331	担当者氏名	落合 忠	電話 5744-1303
担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課								
課長氏名	伊藤 廉	電話 5744-1331								
担当者氏名	落合 忠	電話 5744-1303								

事業名	 在宅医療連携推進事業 新規
予算額	1,000万円
事業のねらい	<p>病院から在宅医療への円滑な移行や安定的な在宅療養生活を継続するため、医師会に設置した在宅療養支援窓口を中心に、医療と介護の連携を強化し、地域における医療的ケアが必要な高齢者等の在宅療養の環境整備を図ります。</p>
事業概要	<p>平成22年度は東京都のモデル事業として、病院から在宅に移行する際に地域の医療情報等を提供する調整窓口を設置して、顔の見える連携体制を構築する事業を医師会が受託して実施してきました。しかし、短期間での検証は難しいことから、平成23年度は大田区に相応しい在宅医療連携のあり方等を検証するため、区が医師会に対して事業実施に必要な経費の一部を助成します。</p> <p>1 助成対象 大森医師会 田園調布医師会 蒲田医師会</p> <p>2 対象経費 在宅療養支援窓口事業 在宅療養後方支援病床確保事業 在宅療養推進会議</p>
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 小田川 一雄 電話 5744-1261
	担当者氏名 鷺見 恵 電話 5744-1264

事業名	 犬のしつけ方教室 新規
予算額	68万円
事業のねらい	<p>家族の一員である犬と快適に暮らしていくために犬の飼い方について普及啓発を進め、犬による近隣トラブル等を防止します。</p> <p>あわせて、同時期に実施する「狂犬病予防定期注射」の接種率の向上をめざします。</p>
事業概要	<p>狂犬病予防定期集合注射実施(実施期間 平成23年4月11日～17日)に先立ち、東京都獣医師会大田支部との共催で実施します。</p> <p>飼い主が犬を連れて参加し、訓練士等からその訓練方法、その他犬との接し方について実地で学びます。</p> <p>なお、参加者には（仮称）愛犬手帳を配布する予定です。</p> <p>1 予定日時 平成23年4月10日（日） 13時～16時 （雨天順延）</p> <p>2 実施場所 池上本門寺 第二駐車場</p> <p>3 対象者 犬を飼っている人、これから飼うことを考えている人</p> <p>4 実施内容 ① しつけ方グループレッスン（訓練士による実地指導） ② 愛犬の健康相談 ③ 狂犬病予防啓発展示 ④ 災害救助犬・介護犬デモンストレーション</p>
問合先	担当課 保健所 生活衛生課
	課長氏名 深山 徹 電話 5764-0690
	担当者氏名 中谷 秀裕 電話 5764-0670

【2】子育て・教育（1）

事業名	待機児童対策の充実
予算額	22億4,825万円
事業のねらい	<p>待機児童の解消を進めるため、保育サービス定員を320名増加します。</p> <p>(1) 老朽化している入新井保育園及び森が崎保育園を改築し、合わせて定員の拡充を行います。また、鶴の木特別出張所と合築で、保育園を新設します。</p> <p>(2) 民間保育所の新設について、区が所有する土地を民間事業者に貸与し、園舎の建設費用の一部を助成します。また、テナント型の認可保育所の新設に対し、改修費用の一部を助成します。</p> <p>(3) 多様な保育ニーズに応えるため、認証保育所の開設を支援します。</p>
事業概要	<p>1 保育園の改築及び新設計画 7億5,996万円</p> <p>(1) 入新井保育園の改築 3億568万円 平成24年2月開園（予定）</p> <p>(2) 森が崎保育園の改築 2億5,479万円 平成23年10月着工（予定）、平成24年10月開園（予定）</p> <p>(3) （仮称）新鶴の木保育園の新設 1億9,949万円 平成24年度開園（予定）</p> <p>2 区立保育所定員拡充 5,358万円</p> <p>3 民間保育所への建設費用等の助成 12億5,641万円</p> <p>(1) （仮称）中央五丁目保育園新設補助 1億6,280万円</p> <p>(2) テナント型認可保育所新設補助（3施設） 2億3,456万円</p> <p>(3) 保育所入所者運営費（拡充分） 4億7,328万円</p> <p>(4) 民間保育所に対する法外援護（拡充分） 3億8,579万円</p> <p>※（1）（2）は大田区次世代育成支援緊急対策整備事業として実施します。</p> <p>4 認証保育所開設支援（認証保育所運営費等補助事業） 1億6,039万円</p> <p>(1) 開設準備経費補助 7,000万円</p> <p>(2) 運営費補助（拡充分） 7,803万円</p> <p>(3) 保護者負担軽減補助（拡充分） 1,236万円</p> <p>5 家庭福祉員制度経費（拡充分） 1,793万円</p>
問合先	<p>担当課 こども家庭部 子育て支援課・保育サービス課</p> <p>課長氏名 子育て支援課長 小泉 邦雄 電話 5744-1271</p> <p>待機児担当副参事 市野 由香里 電話 5744-1641</p> <p>保育サービス課長 薄根 幸 電話 5744-1276</p> <p>担当者氏名</p> <p>(上記1) 鈴木 勝巳 電話 5744-1642</p> <p>(上記2～4) 田中 智秀 電話 5744-1277</p>

【2】子育て・教育（2）


<p>事業名</p>	<p>民間保育所に対する「一時預かり事業費」助成の新設 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">105万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>民間保育所が、保護者の死亡、病気、出産等の理由で緊急に保育が必要な児童を一時的に預かる「一時預かり事業」を実施した場合に、その費用の一部を区が助成する制度を新設します。</p> <p>これにより、民間保育所の経営面での負担を軽減し、保護者の多様なニーズにも応えられるようにします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>民間保育所が運営費（最低基準を満たす経費）を超えて保育内容を充実する際、区がそれにかかる経費等を助成します。新たに「一時預かり事業」を支給対象とします。</p> <p style="text-align: center;">29園延べ500名分</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 こども家庭部 保育サービス課</p>
	<p>課長氏名 薄根 幸 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 6</p>
	<p>担当者氏名 田中 智秀 電話 5 7 4 4 - 1 2 7 7</p>

事業名	<p>「子育て家庭訪問事業」</p> <p>育児サポーター派遣事業（養育支援家庭訪問事業）</p>
予算額	665万円
事業のねらい	<p>すこやか赤ちゃん訪問事業等で把握した養育を支援することが必要な児童及び保護者並びに妊婦に対して、養育が適切に行われるようにその居宅において養育に関する各種支援を行い、児童の健全育成を図ります。ひいては、昨今急増している児童虐待問題の未然防止につなげます。</p>
事業概要	<p>支援内容や派遣時間等を拡大して、昨今急増している児童虐待問題の未然防止を更に強化します。</p> <p>1 新規支援内容 育児サポーターの派遣 これまでの助産師及び家事・育児ヘルパーの派遣による保護者への支援に加え、児童を直接支援する育児サポーターを派遣します。 派遣対象についても、特定妊婦及び3歳未満の乳幼児がいる家庭に、義務教育終了前の児童がいる家庭を追加し、拡充します。 児童の遊び相手になったり、簡単な学習支援等を行うことによって、ネグレクト（育児放棄）家庭への支援を行います。</p> <p>2 派遣時間の拡大 平日の午前9時から午後5時までだった派遣時間を、土日祝日を含む午前7時から午後8時までに拡大します。</p>
問合先	担当課 こども家庭部 子ども家庭支援センター
	課長氏名 根本 勝司 電話 3763-0188
	担当者氏名 梅原 千晶 電話 5753-7830


【2】子育て・教育（4）

<p>事業名</p>	<p>「子育て家庭訪問事業」 すこやか赤ちゃん訪問事業</p>
<p>予算額</p>	<p>3,059万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児の発育状況や様々な不安、悩み等を聞き、子育てに関する必要な情報提供を行うことにより、赤ちゃんのすこやかな成長を支援します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>すべての乳児家庭を生後4か月頃までに訪問します。訪問により乳児の発育、健康状態等の保健指導、子育て情報の提供及び養育についての相談や助言を行います。</p> <p>1 訪問対象 区内において生後4か月までの乳児のいる全家庭</p> <p>2 対象者数 年間約5,000世帯</p> <p>* 本事業は、児童福祉法に定める「乳児家庭全戸訪問事業」に相当し、母子保健法に基づく「新生児・妊産婦訪問指導事業」を包括したものです。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 保健所 健康づくり課</p> <p>課長氏名 吉田 博 電話 5744-1660</p> <p>担当者氏名 金子 江理子 電話 5744-1683</p> <p>担当課 こども家庭部 子ども家庭支援センター</p> <p>課長氏名 根本 勝司 電話 3763-0188</p> <p>担当者氏名 梅原 千晶 電話 5753-7830</p>

【2】子育て・教育（5）

事業名	 子育て力向上支援事業
予算額	136万円
事業のねらい	<p>親の育児不安を軽減し子育て力の向上を支援するとともに、児童虐待の未然防止を図るために、親支援プログラムのグループワークを実施します。</p> <p>また、グループワークの進行役であるファシリテーターを地域の方々の参画も得て養成し、ひいては、地域の子育て力向上をめざします。</p>
事業概要	<p>親支援プログラムの実施回数を増やします。さらに、児童館での実施や公募ファシリテーターの導入等を行い、子育てをサポートする地域のネットワークの充実を図ります。</p> <p>1 親支援プログラムの実施 12グループ 親が自分の長所に気づき、健康で幸福な子どもを育てるための前向きな方法を見いだすことができるように支援します。</p> <p>(1) 対象者 0歳から就学前までの子どもを持つ親</p> <p>(2) 回数 10人前後のグループで、1回当たり2時間。週1回の単位で、6回連続で行います。</p> <p>(3) 実施方法 保育付きで、親がグループワークに専念できるようにします。</p> <p>(4) 実施場所 子ども家庭支援センター及び児童館 等</p> <p>2 ファシリテーター（グループワークの進行役）の養成 12人 12人のうちの6人は、区民から公募します。</p>
問合先	担当課 こども家庭部 子ども家庭支援センター
	課長氏名 根本 勝司 電話 3763-0188
	担当者氏名 鈴木 富子 電話 5753-1153

【2】子育て・教育（6）

事業名	 東京工業大学等との連携による理科教育の推進 新規												
予算額	1, 247万円												
事業のねらい	地域の大学や企業等と連携しながら大田区の理科教育を推進し、理科好きな子どもを育て、将来の大田区のものづくりや日本の科学技術を支える人材を育てます。												
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 おおたサイエンススクール 193万円 清水窪小学校を研究校に指定し、東京工業大学と連携しながら理科教育推進を図ります。 最先端科学技術を研究している東京工業大学の教授等専門家からのアドバイスを活かしながら得た研究成果を区内の全小学校に発信し、教員の指導力を向上させます。 また、情報機器の活用法を研究し、理科好きな子どもを増やします。 2 東工大・おおたサイエンスフェスタ 86万円 テーマ（予定）：最近、家庭にも導入され始めている「燃料電池」。東京工業大学でも力を入れて研究している最先端の技術について、吸水性ポリマーを活用して燃料電池をつくりながら原理を学び、未来の技術を体感します。 日程：平成23年8月19日（金） 対象：区内の小学生中学年～高学年 160名 場所：東京工業大学 実験室 内容（予定）：燃料電池製作実験 「オムツで燃料電池を作り出そう！ 吸水性ポリマー燃料電池実験」 3 東京工業大学との共催による小・中学校理科の授業改善（理科教育コンテンツの作成） 58万円 東京工業大学大学院生と小・中学校教員との共同研究による理科教材の作成とプログラム開発を行います。理科の指導法の改善について東京工業大学の大学院生を加えてグループ研究を行います。 また、8月に小・中学校理科授業力向上研修を行うほか、2学期には理科実践授業を行います。 この活動を通して小・中学校教員の理科指導力の向上と授業改善を図ります。 4 おもしろ理科教室 911万円 地域の科学・技術分野の専門家を「おおた理科博士」に指定します。小学校5、6年生の理科授業において、「おおた理科博士」、理科支援員、担任が協働して先端科学技術に関する実験の演示・体験活動を行い、理科教育の活性化と教員の理科指導力の向上を図ります。 また、「おおた理科博士」が児童・生徒からの理科に関する質問に答える取り組みを実施する等、サイエンスコミュニケーションの輪を広げます。 												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">教育総務部 指導課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小黒 仁史</td> <td>電話</td> <td>5744-1434</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>早川 隆之</td> <td>電話</td> <td>5744-1435</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 指導課			課長氏名	小黒 仁史	電話	5744-1434	担当者氏名	早川 隆之	電話	5744-1435
担当課	教育総務部 指導課												
課長氏名	小黒 仁史	電話	5744-1434										
担当者氏名	早川 隆之	電話	5744-1435										

【2】子育て・教育（7）

<p>事業名</p>	<p>☆ 中学生の海外派遣</p>
<p>予算額</p>	<p>2, 8 2 3 万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>海外での生活を通じて外国の生活・文化の理解、外国語（英語）の習熟を図り、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな生徒に成長することを目指します。また、学んだ成果・体験を広く発表することで、生徒の国際理解をより深めることを目的としています。</p>
<p>事業概要</p>	<p>中学校生徒の海外派遣先に新たにドイツを加え2か国とします。 新コースでは、歴史あるヨーロッパの文化に触れる中で、マイスター制度によるものづくりの伝統を見学・体験するとともに、高い技術を誇る大田区のものづくり産業への理解を深め、大田区を再発見する機会とします。</p> <p>1 派遣先 Aコース：アメリカ・セーラム市 Bコース：ドイツ・ブレーメン市【新規】</p> <p>2 派遣生徒 区立中学校各校から男女1名ずつ、56名を選考し、各コースに28名を派遣します。</p> <p>3 派遣期間 平成23年7月22日（金）～8月2日（火）の12日間</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 教育総務部 指導課</p> <p>課長氏名 小黒 仁史 電話 5744-1434</p> <p>担当者氏名 岩崎 政弘 電話 5744-1435</p>

【2】子育て・教育（8）


<p>事業名</p>	<p>学校運営システムの開発・運用</p>
<p>予算額</p>	<p>1億8,295万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>教育委員会事務局と学校をネットワークで結び情報を共有するとともに、校務支援システムを導入して、学校の校務の効率化を図ります。 あわせて、学校の情報セキュリティの更なる向上をめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 システムの構築（平成23年度） 8,944万円 ネットワーク、校務支援ソフトウェアやデータベース等を内容とする学校運営システムを構築します。 導入箇所：小学校60校、中学校28校、教育センター、適応指導教室3か所、教育委員会事務局</p> <p>2 システムの運用（平成23年度） 9,351万円 システムの保守運用、操作研修、障害対応、現場サポート等のシステムの運用を開始します。</p> <p>3 今後のスケジュール（予定） (1)システム運用開始 平成24年1月 運用業務：学校運営ネットワーク、校務支援システム（グループウェア機能等）、データベース（学校と教育委員会事務局との情報共有） (2)モデル校全機能運用開始 平成24年度 成績管理機能、保健管理機能を含む全機能について、指定校で運用を開始します。 (3)全校等の全機能運用開始 平成25年度</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 教育総務部 教育総務課</p> <p>課長氏名 教育事務改善担当課長 福本 英也 電話 5744-1425</p> <p>担当者氏名 宝田 衛 電話 5744-1696</p>

事業名	嶺町小学校の改築
予算額	6億3,073万円
事業のねらい	児童数の増加及び校舎の老朽化に対応するため校舎を改築します。
事業概要	<p>1 施設の概要 所在地：田園調布南6番10号</p> <p>2 スケジュール概要（予定） 平成23年度～26年度 仮設体育館リース 平成23年度 既存体育館・プール解体 平成23年度～24年度 普通教室棟建設工事（Ⅰ期工事） （竣工予定 平成25年3月） 平成25年度 既存校舎解体 平成26年度 体育館棟建設工事（Ⅱ期工事） （竣工予定 平成27年3月） 平成27年度 外構工事</p> <p>3 改築予算（平成23年度） （1）基本設計・実施設計委託料 4,300万円 （2）仮設体育館使用料 7,896万円 （3）改築工事（Ⅰ期工事） 4億7,405万円 （4）工事監理委託ほか 3,473万円</p>
問合先	担当課 教育総務部 教育総務課施設担当
	課長氏名 西野 正成 電話 5744-1430
	担当者氏名 （建築）樋口 満 （電気）川添 立雄 （設備）田中 健一 電話 5744-1399


【3】安全・安心（1）

事業名	☺☺☺ 防犯カメラの設置助成 新規
予算額	1, 242万円
事業のねらい	区民の「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識をさらに高め、自らが防犯に関する取り組みを行うことにより、安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。
事業概要	<p>区が選定した「安全・安心まちづくり推進地区」内において、当該地区内に所在する自治会・町会といった地域団体と商店街等が連携して、地域の防犯力向上のために設置する防犯カメラ等の整備に対して助成金を交付し、当該地区における安全で安心なまちの実現を促進します。</p> <p>1 予定地区</p> <p>（1）大森北一丁目地区</p> <p>（2）長原商店街地区</p> <p>2 補助率：5/6</p>
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 防災・危機管理担当課長 久保田 起美恵 電話 5744-1712
	担当者氏名 角田 彰 電話 5744-1634

【3】安全・安心（2）

事業名	 災害本部体制の充実
予算額	2,174万円
事業のねらい	災害対策本部への情報を的確に収集し、かつ迅速に伝達することにより意思決定を支援し、円滑な災害応急活動の実施を図ります。
事業概要	<p>1 業務継続管理業務の実施 599万円 大規模地震発生時における災害時の応急・復旧業務や区民生活に不可欠な優先業務を継続させるために策定した「大田区業務継続計画（震災編）」について、さらなる実効性の確保と適切な進捗管理を実施するべく、客観的評価システムの検討や教育・訓練による充実強化等を実施します。</p> <p>2 防災情報処理室のシステム改修 1,575万円 災害時、円滑に関係各機関と連携を図って情報収集を行い、また、収集した情報を庁内で広く共有することで迅速かつ的確な災害対応を可能とするため、システムシステムの改修を実施します。</p>
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 宇佐見 衛 電話 5744-1234
	担当者氏名 （業務継続管理業務） 長沼 宏幸 電話 5744-1236 （防災情報処理室のシステム改修） 平方 誠人 電話 5744-1713

【3】安全・安心（3）


事業名	 防災行政無線（固定系）の更新
予算額	4億5,925万円
事業のねらい	<p>災害発生時の情報伝達設備である防災行政無線（固定系）は設置から約30年が経過しています。今後も安定的な運用を行うために設備を更新します。また、無線放送が聞き取りづらい難聴地域対策も合わせて実施します。</p>
事業概要	<p>現在、アナログ波で発信している防災行政無線の電波をデジタル化することにより、放送内容が明瞭に聞こえるようになります。</p> <p>1 更新期間 平成22年度から平成24年度まで（3年間）</p> <p>2 全体整備箇所数 屋外拡声子局 244局 うち平成23年度整備箇所数 99局</p>
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 宇佐見 衛 電話 5744-1234
	担当者氏名 平方 誠人 電話 5744-1713

【3】安全・安心（4）

<p>事業名</p>	<p>(民間建物の)耐震診断・改修助成制度 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>1億3,332万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>地震に強い安全なまちづくりをめざして、古い耐震基準で建築された民間建物の耐震性向上を図るため、耐震化の普及啓発を行うとともに、耐震化費用の一部を助成します。建物の耐震化をさらに進めるため、助成内容を拡充していきます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 耐震化セミナー講習会・耐震コンサルタント派遣等 2,071万円</p> <p>2 マンション耐震アドバイザー派遣（新規） 60万円 分譲マンションの耐震改修は、多額の費用がかかることや、所有者間の合意形成が困難なため、耐震化が進みにくい状況にあります。分譲マンションの耐震化を促すために、専門のアドバイザーを派遣し、耐震改修に向けた支援を行います。</p> <p>3 制度説明パンフレット印刷等 83万円</p> <p>4 耐震診断助成事業等 1,634万円 限度額：木造住宅 10万円 木造以外の住宅 50万円 マンション（1棟当たり） 100万円 補助率：要する費用の2/3</p> <p>5 耐震改修計画・設計助成事業 1,285万円 木造住宅の計画・設計助成限度額を10万円から15万円に増額します。 限度額：木造住宅 15万円 木造以外の住宅 50万円 マンション（1棟当たり） 100万円 補助率：要する費用の2/3</p> <p>6 耐震改修助成事業 8,000万円 限度額：木造住宅（通常）100万円、（高齢者等）150万円 木造以外の住宅（通常）150万円、（高齢者等）200万円 分譲マンション（1棟当たり）1,000万円 賃貸マンション（1棟当たり） 500万円 補助率：木造住宅（通常） 要する費用の1/2 "（高齢者等） 要する費用の2/3 木造以外の住宅（通常） 要する費用の1/2 "（高齢者等） 要する費用の2/3 分譲・賃貸マンション（1棟当たり） 要する費用の1/2</p>

	<p>7 耐震シェルター・ベッド設置費助成（新規） 200 万円</p> <p>家全体の耐震改修工事を行うことが経済的に困難な高齢者等のため、寝室等に設置できる耐震シェルター・耐震ベッドへの助成制度を創設します。</p> <p>限度額：50 万円 補助率：9/10</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 黒澤 明 電話 5 7 4 4 - 1 3 4 1
	担当者氏名 倉 一郎 電話 5 7 4 4 - 1 3 4 9

【3】安全・安心（5）

事業名	 <p>住宅リフォーム助成 新規</p>
予算額	2, 0 1 1 万円
事業のねらい	<p>防犯・防災対策の強化やバリアフリー化、環境へ配慮した住宅への改修を進めるため、区内中小事業者の施工による住宅のリフォームを行う際の費用の一部を助成します。</p> <p>これにより、区民の居住環境の向上と安全・安心なまちづくりをめざします。</p>
事業概要	<p>区民が区内中小事業者の施工により、防犯・防災対策の強化やバリアフリー化、環境への配慮等を含む住宅リフォーム工事を行う際に、費用の一部を助成します。</p> <p>1 限度額：10 万円 補助率： 5/100</p> <p>2 対象工事期間 24 年 2 月 28 日までに完了するもの</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 住宅課
	課長氏名 外崎 光生 電話 5 7 4 4 - 1 3 4 2
	担当者氏名 蔭山 龍一 電話 5 7 4 4 - 1 3 4 3

事業名	<p>「橋梁の整備」</p> <p>橋梁の補修</p>
予算額	3,110万円
事業のねらい	<p>橋梁の管理手法をこれまでの事後保全型管理から予防保全型管理へ転換することにより、橋梁の延命化を図り、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全性を確保します。</p>
事業概要	<p>平成21年度に実施した定期点検を踏まえ、床版などコンクリート部材のひび割れ補修・断面修復、鋼部材の防食機能の向上を目指した塗装等の修繕について、設計及び工事を実施します。</p> <p>1 設計対象橋梁 大森まちなみ維持課管内：境橋、稻荷橋 調布まちなみ維持課管内：八幡橋、長栄橋、荏野橋、大塚橋</p> <p>2 工事対象橋梁 大森まちなみ維持課管内：境橋 調布まちなみ維持課管内：八幡橋、長栄橋</p>
問合先	担当課 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課
	課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626
	担当者氏名 寺林 裕泰 電話 5764-0631
	担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課
	課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319
	担当者氏名 中野 修 電話 3726-4303

【3】安全・安心（7）

<p>事業名</p>	<p>「橋梁の整備」</p> <p>橋梁の架替整備</p>									
<p>予算額</p>	<p>10億9,300万円</p>									
<p>事業のねらい</p>	<p>区が管理する橋梁の中で、災害時の緊急道路障害物除去路線等、防災上重要な橋梁は、計画的に架替整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。</p>									
<p>事業概要</p>	<p>災害時に支障をきたすことのないように、橋梁の架替を行い、地域住民の方々が安全で安心して暮らせるまちづくりと景観の向上を図ります。</p> <p>八幡橋架替工事 仲之橋架替工事 新馬込橋架替工事</p>									
<p>問合せ先</p>	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>都市基盤整備部</td> <td>建設工事課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>小出 和男</td> <td>電話 5764-0689</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>里見 勇</td> <td>電話 5764-0704</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤整備部	建設工事課	課長氏名	小出 和男	電話 5764-0689	担当者氏名	里見 勇	電話 5764-0704
担当課	都市基盤整備部	建設工事課								
課長氏名	小出 和男	電話 5764-0689								
担当者氏名	里見 勇	電話 5764-0704								

事業名	<p>「橋梁の整備」</p> <p>橋梁の耐震整備</p>
予算額	2億6,940万円
事業のねらい	<p>災害時の緊急道路障害物除去路線や鉄道^{また}を跨ぐ橋梁等、防災上重要な橋梁の耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します。</p>
事業概要 問合せ先	<p>1 災害時に支障をきたすことのないように、橋梁の耐震補強整備を行い、地域住民の方々が安全で安心して暮らせるまちづくりと景観の向上を推進します。</p> <p>工事:大森東避難橋</p> <p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小出 和男 電話 5764-0689 担当者氏名 里見 勇 電話 5764-0704</p> <p>2 鉄道事業者と大田区との間で協定等を締結し、区が管理している橋梁のうち、鉄道敷に架かる2橋の耐震補強設計委託を行います。</p> <p>設計:西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋</p> <p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0679 担当者氏名 直井 正明 電話 5764-0724</p>

【4】産業・環境（1）

事業名	中小企業都市連絡協議会（中小企業都市サミット）の開催
予算額	127万円
事業のねらい	<p>全国の中小企業が集積する都市の代表（自治体・商工会議所等）が一堂に会し、中小企業経営とその支援の課題について議論を行い、国等の関係機関に対する政策提言と世論へのアピールを行います。中小企業都市連絡協議会（川口市、墨田区、大田区、岡谷市、東大阪市、尼崎市）を中心として、全国から30都市が参加予定です。</p>
事業概要	<p>中小企業都市サミットは過去7回開催（前回は東大阪市）されており、第8回は大田区で開催されます。過去は協議会6都市のみの参加でしたが、今回は「厳しい経営環境の中で日本の製造業の基盤を支えている中小企業の課題と支援強化をより広くアピールしたい。」との大田区長の発案により、全国の各都市（約30都市）の参加を要請しています。</p> <p>各都市からは行政、商工会議所、支援機関、中小企業経営者等が参加予定です。このほか経済産業省・中小企業庁、東京都、学識者等にも参加を呼びかけています。</p> <p>開催日：平成23年8月4(木)・5日(金) 開催場所：大田区産業プラザ</p> <p>内容（予定）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業経営者によるパネルディスカッション ・産業集積維持、新産業・新需要の創出、グローバル化対応等の分科会 ・おおたものづくりツアー ・レセプション ・サミット共同宣言採択 等 <p>本事業は中小企業都市連絡協議会に加盟する6都市（川口市、墨田区、大田区、岡谷市、東大阪市、尼崎市）と商工会議所からの予算で実施します。</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者氏名 松島 愛一郎 電話 3733-6183



【4】産業・環境（2）



事業名	新製品・新技術開発支援事業 新規
予算額	1億160万円
事業のねらい	区内の中小企業者が取り組む新製品・新技術開発に要する経費の一部を助成します。区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を促進します。
事業概要	<p>1 開発スタート助成 1,000万円 対 象：創業間もない企業や開発型企業への転換をめざす中小企業者 限度額：200万円 補助率：2/3</p> <p>2 開発ステップアップ助成 7,000万円 開発初期段階から最終段階まで、開発段階に応じた支援を行い、幅広い企業の開発力向上を図ります。 対 象：企業の成長につながる新製品・新技術の開発、環境・医療福祉分野等社会的な課題解決につながる開発に取り組む中小製造業者 限度額：1,000万円及び500万円 補助率：2/3</p> <p>3 実用化・製品化助成【新規】 2,000万円 試作段階の開発を終え、デザイン、知的財産権の取り組み等実用化・製品化の取り組みに対して助成します。 対 象：企業の成長につながる新製品・新技術の開発、環境・医療福祉分野等社会的な課題解決につながる開発に取り組む中小製造業者 限度額：100万円 補助率：2/3</p> <p>4 審査関係経費 160万円</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者氏名 山本 成俊 電話 3733-6183


事業名	+ 区内工場立地・操業環境整備助成事業
予算額	1億3,501万円
事業のねらい	<p>区内ものづくり企業は、景況の悪化や後継者不在等による工場閉鎖や廃業に加え、周辺環境の変化によって、事業拡張や設備投資が難しくなっています。</p> <p>区内工場数の減少を食い止め、産業競争力を培うため、ものづくり事業者による区内工場の新增設や工場内整備、区外企業の区内への立地に対して支援します。</p>
事業概要	<p>1 大田区企業立地促進計画による支援 431万円 区の強みであるものづくり企業の集積の再構築を図り、経済の活性化につなげます。</p> <p>2 貸工場・工業用地マッチング事業 23万円 宅地建物取引業者と提携し、区内操業を希望する企業のニーズに合った物件情報を提供します。</p> <p>3 ものづくり工場立地助成 7,568万円 対 象：工場の新設、増設、移転、工場内の整備等 対象業種：区が指定する製造業 補 助 率：1/4 限 度 額：1,000万円</p> <p>4 コミュニティ創出型工場集合化支援事業（コーポラティブファクトリー推進事業） 480万円 民間活力を生かし、地域に溶け込む魅力ある次世代型の小規模集合工場をコーポラティブ方式で創ることを支援するため、民間コーディネーターの活動費用の一部を助成します。立地企業については、ものづくり工場立地助成の活用が可能です。</p> <p>5 ものづくり工場基盤施設整備助成【レベルアップ】 5,000万円 工場アパート等のものづくりの基盤施設で、一定の要件をみたすものを整備する民間事業者に対して施設整備費の一部を助成します。 対 象：工場の作業場面積5,000㎡以上で5社以上が入居する貸工場（工場アパートを同時に行うものに限る。）の整備 補助率：1/4 限度額：5億円（10年間で交付） 【平成23年度竣工予定案件】 所在地：東糀谷6丁目4番</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者氏名 山本 成俊 電話 3733-6183


事業名	<p>「海外への展開」</p> <p>士 海外取引相談事業</p>
予算額	1, 847万円
事業のねらい	<p>区内中小企業にとって状況認識や判断が難しい海外取引の諸問題に対し、職員と専門相談員が適切な助言を行います。さらに、区内中小企業に対して、主にアジア市場における取引拡大につながる各種関連支援事業を実施します。</p>
事業概要	<p>1 海外取引相談 622万円</p> <p>（財）大田区産業振興協会の相談窓口における貿易実務、国際ビジネス等の情報提供をはじめ、タイムリーな海外取引セミナーの開催、企業カタログや契約書等の海外取引書類の翻訳支援等を行います。</p> <p>2 中国市場開拓 669万円</p> <p>中国を東北・華東・華南の3地域に分割して、各地域政府機関や現地企業とのネットワークの構築を図るとともに、商談会等を開催して区内中小企業の取引拡大を支援します。また、インターネットを活用した拡販事業を継続して、OTAブランドと大田区企業のPRに努めます。</p> <p>3 タイ市場開拓 557万円</p> <p>オオタ・テクノ・パーク(OTP)を大田区企業のタイへの市場開拓拠点として活用し、OTAブランドのPRや取引拡大を支援します。さらに、OTPの入居希望企業に対して円滑に操業体制が整備できるようにサポートします。</p>
問合先	<p>担当課 大田区産業振興協会 企業支援グループ</p> <p>グループディレクター氏名 高月 茂 電話 3733-6145</p> <p>担当者氏名 上原 正樹 電話 3733-6404</p>

事業名	<p>「海外への展開」</p> <p>士 海外見本市の出展支援</p>
予算額	988万円
事業のねらい	区内中小企業の海外見本市への出展支援を通じて、大田区の優れた工業製品や技術を国際的にアピールし、海外市場における取引開拓を促進します。
事業概要	<p>海外見本市が初めての企業でも安心して出展できるように、展示運営、ブース装飾、展示品輸出入の手続き、出展広報、通訳手配等のサポートを（財）大田区産業振興協会が行います。</p> <p>1 中国市場展開（平成14年から継続） 617万円 (1) 大連国際工業博覧会 場所：大連 規模：6社 5月</p> <p>★新規出展分 (2) 上海日中モノづくり展示商談会 場所：上海 規模：10社 9月</p> <p>(3) 香港エレクトロニクス・フェア 2011 場所：香港 規模：3社 10月</p> <p>2 タイ・ASEAN市場展開（平成14年から継続） 372万円 タイメタレックス 2011 場所：バンコク 規模：3社 11月</p>
問合先	<p>担当課 大田区産業振興協会 企業支援グループ</p> <p>グループディレクター氏名 高月 茂 電話 3733-6145</p> <p>担当者氏名 上原 正樹 電話 3733-6404</p>

事業名	  商店（飲食店）表彰制度「OTA!いちおしグルメ」事業
予算額	432万円
事業のねらい	<p>大田区内の優良な個性ある飲食店を表彰します。パンフレット配布や羽田空港での動画放映等を通じて表彰店舗を広くPRすることにより、個々の店舗の士気高揚、さらには区内商業全体の盛り上がりをサポートします。</p>
事業概要	<p>区内の飲食店を公募し、匿名調査員による調査を行い、飲食業に関する有識者・地域活動関係者などで構成する審査会による厳正な審査を経て、表彰飲食店を決定します。</p> <p>1 対象となる飲食店 (1) 食堂、レストラン（和、洋、中華料理店等） (2) 喫茶店（飲み物専門店は対象外） ＊チェーン店、フランチャイズ店は対象外です。また、風俗営業許可を要する飲食店及びそれに準ずる飲食店も対象外となります。</p> <p>2 表彰店舗数（予定）：10店舗</p> <p>3 表彰店舗を紹介する冊子型のパンフレット及び持ち歩きに便利な折りたたみ型リーフレットを作成、配布します。</p> <p>4 （財）大田区産業振興協会ホームページ内に「OTA!いちおしグルメ」のサイトを開設します。</p>
問合せ先	担当課 大田区産業振興協会 管理グループ企画広報チーム
	課長氏名 室田 勉 電話 3733-6442
	担当者氏名 大橋 弘 電話 3733-6476

事業名	  商店街景観整備事業
予算額	3,822万円
事業のねらい	<p>地域特性を踏まえ、歴史・文化や近隣住民の意向を取り入れ、にぎわいと活気、コミュニティ空間としての商店街の機能を充実させます。</p>
事業概要	<p>商店街関係者のほかに、地域住民、コンサルタント等で協議会を組織し、商店街の役割の見直し検討するとともに、新たなコミュニティ空間の創出を図り、まちづくりの一環として商店街の景観整備を行います。</p> <p>平成23年度はミハラ通り(旧東海道)に面する4商店街が中心となり地域住民とともに計画を進めているファサード（外観デザイン）整備に対し事業費の一部を支援します。</p> <p>1 ファサード整備 3,750万円 対象商店街：大森本町ミハラ通り北商店会 大森ミハラ通り仲町商店会 ミハラ南商店街振興組合 するがや通り商店会</p> <p>2 商店街景観整備コーディネーター派遣 72万円</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者氏名 栗林 正勝 電話 3733-6184

事業名	 商店街コミュニティ活性化事業
予算額	663万円
事業のねらい	商店街会館及び空き店舗等を活用して来街者にコミュニティ空間として提供します。
事業概要	<p>新たなコミュニティ空間を創出するため、商店街会館及び空き店舗等を活用してお休み処・トイレ等を来街者のために開放し提供する商店街に対し、施設整備費及び運営費の一部を助成します。</p> <p>1 施設整備への助成 69万円 お休み処開設準備に向けた、サイン等の統一看板及び什器類にかかる費用の一部を助成します。</p> <p>2 施設運営への助成 594万円 お休み処の運営に伴う費用の一部を助成します。</p> <p>(1)新規開設商店街 54万円 (2)既開設商店街 540万円</p> <p>新規商店街：大森ミハラ通り仲町商店会（23年10月開設予定） 既開設商店街：雑色商店街振興組合（平成21年3月開設） 長原商店街振興組合（平成21年3月開設） 矢口の渡商店会（平成21年8月開設） 日の出銀座商店街振興組合（平成22年2月開設） 梅屋敷東商店街振興組合（平成22年2月開設）</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者氏名 栗林 正勝 電話 3733-6184

事業名	 環境基本計画の策定
予算額	1, 132万円
事業のねらい	<p>大田区環境基本計画は、未来の世代に良好な環境を継承するための施策を立案し、着実に実行していくための計画です。</p> <p>本計画を策定し、計画的かつ総合的に施策を推進することにより、大田区環境基本条例で掲げる将来像「環境先進都市おおた」の実現をめざします。</p>
事業概要	<p>1 環境基本計画の策定</p> <p>(1) 庁内検討会の開催</p> <p>(2) 大田区環境審議会の運営</p> <p>(3) 環境基本計画の策定支援業務委託</p> <p>2 スケジュール</p> <p>平成 22～23 年度で、大田区の現状と区民等の意向を踏まえて環境課題を抽出し、目標を明確にしたうえで本計画を策定します。</p> <p>平成 23 年度は、平成 22 年度に検討した基本理念、基本目標に基づき、庁内検討会、環境審議会で計画素案を検討し、パブリックコメントを実施したうえで、環境基本計画を策定します。</p>
問合先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 近藤 倫生 電話 5744-1361
	担当者氏名 岡安 清一 電話 5744-1362


【4】産業・環境（10）

事業名	「みどりの充実」 緑の基本計画の推進
予算額	622万円
事業のねらい	平成22年度内に改定を予定している緑の基本計画を推進し、進行管理の透明性を高めるため、学識経験者、区民代表等で構成された推進会議を設置・運営します。また、緑豊かなまちなみをつくり、まちの魅力を高めていくため、既存の緑化や緑の保全制度の見直しを含めた新たなまちづくりの制度づくりに取り組みます。
事業概要	（仮称）緑の基本計画推進会議を設置・運営します。また、あわせて緑の条例や施策等の調査・検討を行い、緑に関する新たな制度について検討します。 1 （仮称）緑の基本計画推進会議の開催 54万円 2 みどりの施策基礎調査委託 569万円
問合先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課 課長氏名 伊藤 廉 電話 5744-1331 担当者氏名 大橋 英一 電話 5744-1303

【4】産業・環境（11）

事業名	「みどりの充実」 住民参加型植樹管理（おおた花街道） 新規
予算額	65万円
事業のねらい	地域の方々が主体となり、区道上の植樹帯等の管理を行うことによって、地域力を生かした緑豊かな魅力あるまちなみづくりをめざします。
事業概要	平成23年度は2地区を設定し、地域の方々が選定した植物を年3回植替え管理していきます。 1 田園調布二丁目地区 8㎡ 植替え3回 2 鶉の木二丁目地区 15㎡ 植替え3回
問合先	担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課 課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319 担当者氏名 中野 修 電話 3726-4303

【4】産業・環境（12）

<p>事業名</p>	<p>「みどりの充実」  18色の緑づくり支援 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>219万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>みどりのまちづくりは地域力に支えられて進めていくことが大切です。地域力を活かし、みどりを「守り」「つくり」「育て」「つなげ」、区民がみどりに親しみながら豊かに暮らせるまちをめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>平成22年度に改定する予定の区の緑の基本計画を推進する事業として、18の特別出張所を単位に、花の種の配布等を行い、一般家庭や商店街等、地域との協働を進めながら、18色の「まちの緑づくり」を支援します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 環境清掃部 環境保全課</p>
	<p>課長氏名 近藤 倫生 電話 5744-1361</p>
	<p>担当者氏名 木下 眞孝 電話 5744-1365</p>

事業名	河川水質浄化対策
予算額	9,990万円
事業の ねらい	<p>呑川の再生と緑豊かな潤いある水辺空間の創出のために、呑川流域全体の水質浄化に取り組み、効果検証のため水環境の監視を行います。</p> <p>河川対策では新たな水質浄化に取り組むため、水質浄化システムの研究開発を行います。事業の推進にあたっては、地元企業や大学等の専門的な研究機関等と協働して取り組みます。</p> <p>流域対策では、下水道へ雨水が流入する量を減らすことで、河川へ越流する下水の量を削減するために透水性舗装や雨水浸透柵の設置を行います。</p>
事業概要 問合せ先	<p>1 河川対策：呑川水質改善検討委託・水環境監視 5,514万円</p> <p>水質浄化システムの試作機を呑川に設置し、改善効果の調査や浄化システムの評価を行います。なお、区内大学と協働で実施している汚濁メカニズムの調査等の研究は継続して実施し、水質浄化システムの研究・開発に反映させていきます。</p> <p>従来の呑川水質調査の他、河川水の臭気濃度と悪臭物質の分析を委託するとともに、河川大気中の腐食性ガスの分析を委託し実施します。</p> <p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689 担当者氏名 明立 周二 電話 5744-1304</p> <p>2 流域対策：透水性舗装工事、雨水浸透柵の整備 4,476万円</p> <p>呑川流域の雨水が下水道に流入する量を減らし、河川に越流する下水の量を削減します。</p> <p>対策の概要：透水性舗装、雨水浸透柵整備</p> <p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小出 和男 電話 5764-0689 担当者氏名 保下 誠 電話 5764-0725 内田 岳 電話 5764-0720</p> <p>対策の概要：各地域における道路維持補修での雨水浸透柵整備</p> <p>担当課 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課 課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626 担当者氏名 寺林 裕泰 電話 5764-0631 問合せ先 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課 課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319 担当者氏名 中野 修 電話 3726-4303</p>

【5】観光・文化（1）


事業名	おおたの観光魅力創出事業
予算額	5,054万円
事業のねらい	<p>区内にある観光資源の新たな魅力の創出につながる事業を推進します。</p> <p>具体的には、来訪者の利便性を高め、大田区ならではの魅力を楽しんでもらうために観光案内サインを整備します。また、大田観光協会が実施する大田区の観光の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながる事業を支援します。さらに、大田区、品川区の観光協会が連携し、区堺を越えた観光の魅力創出事業に対して支援します。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区観光案内サイン推進事業 2,625万円 区民はもとより外国人観光客や高齢者などの来訪者が大田区の魅力を楽しめるよう、多言語対応や図記号を用いた観光案内サインを設置します。 2 大田観光協会補助事業 2,229万円 大田観光協会が実施する「いきいき大田写真コンクール事業」「おおた商い観光展への出展」「大田再発見ツアーの企画・実施」「ものづくりツアーの企画・試行」「ガイド養成講座の実施」等の事業を支援します。 3 品川・大田地域観光まちづくり補助事業 200万円 品川区との広域連携による品川・大田地域観光まちづくり推進協議会が実施する「羽田空港・品川駅を起点とした短時間ツアーの企画・催行」「観光イベント開催など観光資源開発」等の事業を支援します。
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3733-6190

事業名	+ 観光情報の提供
予算額	3, 293万円
事業のねらい	<p>区内に数多くある観光資源を海外も含めた区内外に広く PR するため、「観光大使がインターネットや各々のパーソナルネットワークを通じて行う大田区の見所紹介」や「羽田空港内観光情報コーナーの運営」、「大田観光協会が管理運営するホームページや観光情報媒体の作成」等の事業を通じて情報発信を図り、大田区への誘客促進へとつなげます。</p>
事業概要	<p>1 大田区観光大使の任命 139 万円 区内在住・在勤・在学等の大田区に縁のある外国人等の方々を観光大使（来～る大田区大使）として任命し、大田区のイベントや行事等への参加を通じて感じた大田区の魅力をホームページやブログ、人脈やネットワークなどを活用して、出身国などに対して大田区の魅力を発信していただきます。</p> <p>2 羽田空港観光情報コーナー運営 749 万円 羽田空港国際線ターミナル到着ロビーに設置した「大田区観光情報コーナー」を活用して、大田区が誇る観光や産業等に関するパンフレット配布や製品展示を行い、ターミナルビル利用者に対して大田区の魅力を PR します。</p> <p>3 観光情報掲載による広報 PR 1,053 万円 海外向け、国内向け、区内向けなどの PR 対象ごとに効果的な訴求力を有する観光情報誌等を選定して、大田区の観光情報を発信します。</p> <p>4 大田観光協会助成事業 1,353 万円 大田観光協会が実施する「ホームページの管理運営」「イベントへの出展」「観光情報媒体の発行」等の事業を支援します。</p>
問合先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3 7 3 3 - 6 1 2 8
	担当者氏名 印牧 和治 電話 3 7 3 3 - 6 1 9 0


【6】魅力あるまちづくり（1）

<p>事業名</p>	<p>区政サポーター 新規</p>												
<p>予算額</p>	<p>185万円</p>												
<p>事業のねらい</p>	<p>区民の意見・要望を施策に活かす広聴機能を拡充し、区民の区政参画機会の充実を図ります。</p>												
<p>事業概要</p>	<p>区政サポーターを100名公募します。サポーターの方には、テーマを変えながら複数回実施する区政課題アンケートに回答いただきます。アンケート結果については、集計・分析を行った上で報告書を作成する予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマの設定 区の重要な課題をピックアップし、設定します。 2 アンケート回答 アンケート用紙をサポーターに郵送、またはメールで送付し、回答していただきます。 3 集計・分析（所管課の施策充実への活用） 回答を集計・分析し、調査結果を施策充実につなげます。 4 サポーターへのフィードバック 集計・分析結果を報告書にまとめ、サポーターに送付してアンケート結果を報告するとともに、調査対象となった事業について必要な説明をします。 さらに必要に応じて講演会、施設見学会等を行い、区政への理解と関心を深めていただく機会を提供します。 												
<p>問合せ先</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td colspan="3">経営管理部 区民の声課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>清水 耕次</td> <td>電話</td> <td>5744-1134</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>寺崎 順</td> <td>電話</td> <td>5744-1135</td> </tr> </table>	担当課	経営管理部 区民の声課			課長氏名	清水 耕次	電話	5744-1134	担当者氏名	寺崎 順	電話	5744-1135
担当課	経営管理部 区民の声課												
課長氏名	清水 耕次	電話	5744-1134										
担当者氏名	寺崎 順	電話	5744-1135										


【6】魅力あるまちづくり（2）

事業名	 区民活動の育成と基盤づくり																
予算額	85万円																
事業のねらい	<p>魅力ある地域をつくっていくために必要なことは、新たな地域の担い手づくりと、連携・協働を促進する仕組みです。そのために、NPO・区民活動フォーラムや区民協働推進会議の開催、おおた地域力発見倶楽部の実施などを行います。</p>																
事業概要	<p>1 NPO・区民活動フォーラム等の開催 64万円 地域活動への積極的な参加を区民に働きかけ、地域の活性化を図り、地域力を高めます。 (1) 区民活動団体のパネル展示 (2) 講座等の開催 ①団体支援と団体活性化のための講座 ②区民活動団体の主催するオリジナル講座 等</p> <p>2 区民協働推進会議の開催 20万円 区民との協働を、区民の主体的な参加により総合的かつ計画的に推進するため、区民、区民活動団体、事業者及び区職員で構成する区民協働推進会議を開催し、次の取り組みを行います。 (1) 大田区における区民協働推進に関する調査研究 (2) 地域力応援基金の交付申請を審査し、助成団体を区長に推薦 等</p> <p>3 おおた地域力発見倶楽部の実施 2万円 地域活動に参加するきっかけや、地域活動の知識や技能を習得してもらうため、区が行う地域活動をテーマとした事業を区民へ紹介します。</p>																
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">地域振興部 地域振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td colspan="3">区民協働担当課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>竹村 一也</td> <td>電話</td> <td>5744-1692</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>須山 加代子</td> <td>電話</td> <td>5744-1204</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 地域振興課			課長氏名	区民協働担当課長				竹村 一也	電話	5744-1692	担当者氏名	須山 加代子	電話	5744-1204
担当課	地域振興部 地域振興課																
課長氏名	区民協働担当課長																
	竹村 一也	電話	5744-1692														
担当者氏名	須山 加代子	電話	5744-1204														


【6】魅力あるまちづくり（3）

事業名	 団体支援とネットワークの強化
予算額	3, 2 2 4 万円
事業のねらい	連携・協働を推進する仕組みづくりを行うほか、地域ネットワークの強化や、地域に協働事業を広げるきっかけづくりを行い、地域力を高めます。
事業概要	<p>1 地域力応援基金助成事業 3,010 万円 地域力応援基金を活用し、福祉、子育て、まちづくり等の区民活動を資金面から支援することを目的とし、地域力の発掘・活性化を進めます。</p> <p>(1) スタートアップ助成 設立からおおむね5年以内の団体を対象としています。 補助率 8/10 助成額：新規 10 万～50 万円 継続 1 年 10 万～30 万円</p> <p>(2) ステップアップ・ジャンプアップ助成 地域の方が地域のために行う事業を対象としています。 補助率 10/10 募集・審査は 23 年度、24 年 4 月からの事業開始を予定しています。</p> <p>①ステップアップ助成 事業テーマは各団体のオリジナルテーマで募集します。 助成額：新規 50 万～300 万円 継続 1 年 50 万～200 万円</p> <p>②ジャンプアップ助成 事業テーマは区から提示し、区の課題を担っていただける団体を募集します。 助成額：新規 400 万円 継続 1 年 400 万円 23 年度は、ステップアップ助成事業 8 事業を実施します。</p> <p>2 協働推進講師派遣事業 37 万円 自治会・町会やNPO等区民活動団体が実施する事業の中で、協働の視点を持った事業に対し講師を派遣します。</p> <p>派遣回数 (1) 自治会・町会からの申請による派遣 6 回 (2) 区民活動団体の申請による派遣 4 回</p> <p>3 区民活動情報サイト（オーちゃんネット）の運営 178 万円 地域の中で活動している区民活動団体の情報をインターネット等で提供し、地域デビューや団体間の連携・協働を進めます。</p>
問合せ先	<p>担当課 地域振興部 地域振興課</p> <p>課長氏名 区民協働担当課長 竹村 一也 電話 5 7 4 4 - 1 6 9 2</p> <p>担当者氏名 須山 加代子 電話 5 7 4 4 - 1 2 0 4</p>


【6】魅力あるまちづくり（4）

事業名	 多文化共生施策の推進						
予算額	2,431万円						
事業のねらい	<p>日本語がわからない外国人に対して、公共サービスや生活情報を多言語で案内するために、「くらしのガイド」の外国語版（英語・中国語・ハングル）として「リビングガイド」を発行します。</p>						
事業概要	<p>1 リビングガイド（多言語版）等の発行 446万円 くらしの便利帳「くらしのガイド」の情報をベースに、外国人が地域で生活する上で必要な生活情報や日本の習慣等を盛り込んだ冊子を作成します。作成にあたっては、地域で生活している外国人の方にも編集に参加していただき、より利便性を高めます。 発行部数：英語版 2,000部 中国語版 2,000部 ハングル 1,000部</p> <p>2 多文化共生推進センターの運営 1,985万円 平成22年9月に消費者生活センター内に開設した多文化共生推進センター（mics おおた（区民活動支援施設蒲田と併設））において、外国人からの生活相談対応や日本語教室等を行い、センターの更なる活用を図り、多文化共生施策の推進を図ります。</p>						
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>地域振興部 地域振興課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>国際都市・多文化共生担当課長 木田 早苗 電話 5744-1225</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>小川 幹夫 電話 5744-1227</td> </tr> </table>	担当課	地域振興部 地域振興課	課長氏名	国際都市・多文化共生担当課長 木田 早苗 電話 5744-1225	担当者氏名	小川 幹夫 電話 5744-1227
担当課	地域振興部 地域振興課						
課長氏名	国際都市・多文化共生担当課長 木田 早苗 電話 5744-1225						
担当者氏名	小川 幹夫 電話 5744-1227						


【6】魅力あるまちづくり（5）

事業名	 萩中集会所リニューアルオープン
予算額	7億645万円
事業のねらい	<p>施設老朽化のため、萩中公園内の隣接地（旧ガラクタ公園部分）に改築します。200人規模の会議室のほか、大小の体育室、キッズルームと全席イスを導入したシルバーーム、レストランを併設します。利用者の多い萩中公園の魅力を高め、乳幼児を連れた親子から高齢者まで、世代を超えて共に憩い活動できる空間とします。</p>
事業概要	<p>1 改築の概要</p> <p>(1)改築予定地 大田区萩中三丁目 25番</p> <p>(2)敷地面積 約 64,333 m² (3)延床面積 約 2,179 m²</p> <p>(4)構造等 鉄筋コンクリート造・地上2階 地下1階</p> <p>2 改築スケジュール概要</p> <p>平成23年10月 竣工・新集会所サービス開始</p>
問合先	<p>担当課 地域振興部 羽田特別出張所</p> <p>課長氏名 白鳥 信也 電話 3742-1411</p> <p>担当者氏名 吉川 順子 電話 3742-1411</p>


【6】魅力あるまちづくり（6）

事業名	 蒲田駅周辺のまちづくり
予算額	2,947万円
事業のねらい	<p> 昨年の羽田空港の国際化等を受け、蒲田駅は区を中心拠点として、また交通結節点としてますます重要になってきています。平成21年度に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定し、平成22年度は駅周辺の基盤施設整備について調査研究会を設け、検討を行っています。 </p> <p> また蒲田駅周辺街区については、これからのまちづくりを検討するための組織作りを行っています。 </p> <p> 平成23年度は、基盤施設整備については、事業者にもご協力を頂きながら検討を深めていきます。周辺街区については、単なる街区整備ではなく、その後のまちの運営までを含めたまちづくりについて、地元の方々と協働して検討していきます。 </p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会」「駅開発研究会」の開催等 43万円 2 蒲田駅周辺開発及び基盤施設整備計画策定業務委託 1,911万円 <ol style="list-style-type: none"> (1) 整備構想（素案）等既往調査成果の整理 (2) 基盤施設計画の検討（駅前広場の検討、自転車駐車場の検討、東西自由通路の検討、基盤施設配置計画の検討） (3) 蒲田駅周辺整備計画(案)の検討（空間形成方針の検討、全体施設配置計画の検討、空間・環境形成上の誘導指針の検討、周辺整備計画（案）の検討） (4) 事業化プログラムの検討（事業化方策の検討、事業化手順の検討、概算事業費の試算） (5) 調査研究会の運営支援 3 蒲田駅周辺地区再開発事業化に係る調査委託 994万円 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地権者組織運営支援 (2) まちづくり構想案の検討 (3) エリアマネジメント推進
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 齋藤 浩一 電話 5744-1714
	担当者氏名 菊地 裕之 電話 5744-1339


【6】魅力あるまちづくり（7）

事業名	 大森駅周辺のまちづくり																				
予算額	2, 1 4 1万円																				
事業の ねらい	<p>「大森駅周辺地区グランドデザイン」の策定を受けて、今後エリアマネジメントの手法も含めて検討し、基盤整備を中心に推進します。</p> <p>東口においては駅前広場の再整備・機能強化、歩行空間の利便性・快適性等を検討するため、(仮称)大森駅周辺事業検討委員会を立ち上げ、調査研究や事業検討を行います。</p> <p>西口においては、駅前広場、都市計画道路等未整備な都市基盤の整備、周辺街区の老朽化した建物の更新等の問題を解決するため、地元の方々と協働して都市基盤整備とまちづくりについて検討を行います。</p>																				
事業概要	<p>1 (仮称) 大森駅周辺地区事業検討委員会の開催 25万円</p> <p>2 大森駅周辺地区グランドデザイン パンフレット作成等 31万円</p> <p>3 (仮称) 大森駅周辺活性化促進事業支援委託 998万円 < (1) ~ (2) 大森駅周辺地区、(3) ~ (5) 大森駅東口周辺地区 > (1) 現況と整備課題の整理 (2) エリアマネジメント推進に係る検討 (3) 導入施設、施設配置計画等の検討 (4) 駅周辺街区整備の検討 (5) 交通結節機能強化の方向性と課題</p> <p>4 大森駅西口地区まちづくり方策検討調査委託 1,089万円 (1) 都市基盤施設計画の検討(必要となる都市基盤(駅前広場等)の規模、機能、配置、形状のケースパターン等の検討、基本計画図(案)の作成等) (2) 市街地整備事業等の検討(計画条件の整理(エリア設定、都市計画等、建物計画図(案)、資金計画(案)作成、関係者との協議等)</p>																				
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>まちづくり推進部</td> <td>まちづくり管理課</td> <td>※上記1~3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>都市開発課</td> <td>※上記4</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>森永 昭彦</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 6 9 1</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>高木 仁根</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 3 0 3 ※上記1~3</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>菊地 裕之</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 3 3 9 ※上記4</td> </tr> </table>	担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課	※上記1~3			都市開発課	※上記4	課長氏名	森永 昭彦	電話	5 7 4 4 - 1 6 9 1	担当者氏名	高木 仁根	電話	5 7 4 4 - 1 3 0 3 ※上記1~3	担当者氏名	菊地 裕之	電話	5 7 4 4 - 1 3 3 9 ※上記4
担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課	※上記1~3																		
		都市開発課	※上記4																		
課長氏名	森永 昭彦	電話	5 7 4 4 - 1 6 9 1																		
担当者氏名	高木 仁根	電話	5 7 4 4 - 1 3 0 3 ※上記1~3																		
担当者氏名	菊地 裕之	電話	5 7 4 4 - 1 3 3 9 ※上記4																		


【6】魅力ある地域づくり（8）

事業名	 景観計画の策定
予算額	41万円
事業のねらい	<p>景観法を活用した景観行政を推進するため、景観行政団体への移行、大田区景観計画の策定をめざします。</p>
事業概要	<p>平成23、24年度の2か年で、学識経験者等を交えた検討を行い、景観計画案を策定し、景観計画団体移行の手続きを行います。</p>
問合せ先	<p>担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課</p>
	<p>課長氏名 鈴木 清貴 電話 5744-1663</p>
	<p>担当者氏名 中村 哲 電話 5744-1333</p>

【6】魅力あるまちづくり（9）

事業名	 地区まちづくりへの支援 新規
予算額	994万円
事業のねらい	<p>地域の特性を生かした魅力あるまちの実現を目指して、平成22年度に新たに制定した「地域力を生かした大田区まちづくり条例」により、自主的なまちづくり活動への助成内容を充実しました。事業の円滑かつ適正な推進が図られるよう、地域団体等のまちづくり活動を支援します。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区まちづくり協議会支援事業等（継続） 628万円 地域の自主的なまちづくり活動に取り組む団体に対して、地区まちづくり協議会設立に向けてまちづくり専門家を派遣するほか、協議会の運営経費、活動経費の一部を助成します。 ・まちづくり専門家の派遣：派遣回数6回、期間3年を限度 ・協議会運営経費の一部助成：限度額20万円（補助率：要する経費の1/2以内） ・まちづくり活動事業の助成：限度額100万円、期間5年を限度 2 不燃共同化計画策定支援事業（充実） 95万円 建築物の不燃共同化を目指す団体に対して、不燃共同化検討のためのまちづくり専門家派遣や不燃共同化計画策定経費の一部を助成します。 ・まちづくり専門家の派遣：派遣回数6回、期間3年を限度 ・計画策定経費の一部助成：限度額80万円（補助率：要する経費の1/2以内） 3 地区計画策定支援事業（新規） 230万円 都市計画に定める地区計画を目指す団体に対して、地区計画検討のためのまちづくり専門家派遣や地区計画素案策定経費の一部を助成します。 ・まちづくり専門家の派遣：派遣回数6回、期間3年を限度 ・素案策定経費の一部助成：限度額200万円（補助率：要する経費の2/3以内） 4 まちづくり認定審査会の設置（新規） 41万円 支援事業の円滑かつ適正な運営を図るため、「地域力を生かした大田区まちづくり条例」に基づき設置します。
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 黒澤 明 電話 5744-1341
	担当者氏名 大貫 恵二 電話 5744-1339

【6】魅力あるまちづくり（10）

事業名	 桜のプロムナードの整備
予算額	9,177万円
事業のねらい	<p>だれもがさわやかな水と緑の輝きや四季の変化を楽しみながら散策できる遊歩道として、馬込桜並木や内川沿いの道路を整備します。また、整備にあわせて、道路のバリアフリー化を図り、安全・快適なまちづくりをめざします。</p>
事業概要	<p>1 内川沿いの桜のプロムナードについて、実施設計委託を実施します。 大森西二丁目 21 番先外 1 設計延長 410m</p> <p>2 馬込桜並木（南馬込四丁目 10 番～六丁目 18 番先）については、歩道及び植樹柵のリニューアル整備を進めます。また、内川沿いの道路（大森東一丁目 21 番～26 番先）については、遊歩道の改修を進めます。 南馬込四丁目 10 番～六丁目 18 番先 整備延長 155.8m 大森東一丁目 21 番～26 番先 整備延長 126m</p>
問合先	担当課 都市基盤整備部 建設工事課
	課長氏名 小出 和男 電話 5764-0689
	担当者氏名 保下 誠 電話 5764-0725

【6】魅力あるまちづくり（11）

<p>事業名</p>	<p>自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画策定調査</p>
<p>予算額</p>	<p>2,630万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>自転車の駐車空間の確保に取り組むとともに、自転車の適正な利用を推進するため、利用ルール・マナーの啓発や放置自転車の撤去等、従来施策の一層の効率化・強化と、計画的な自転車の走行環境の確保を図る整備計画を策定します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>平成22年度に策定した自転車等利用総合基本計画を推進するため、個別・具体的な整備計画の策定と、その基礎的資料として未調査駅の利用実態調査を行います。</p> <p>1 整備計画策定 1,981万円 総合基本計画に基づき、協議会の下に分科会を設置して具体的な施策を策定します。</p> <p>2 自転車利用実態調査委託 649万円 京浜急行本線・空港線の大森海岸・大森町・梅屋敷・六郷土手・穴守稲荷・天空橋駅、東京モノレール線の流通センター・昭和島・整備場駅における駐車台数、自転車等駐車場利用率、放置比率等を実態調査します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p> <p>課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689</p> <p>担当者氏名 中村 満 電話 5744-1354</p>

【6】魅力あるまちづくり (12)

<p>事業名</p>	<p>大森駅東口自転車駐車場塗装改修工事</p>
<p>予算額</p>	<p>3, 018万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>当自転車駐車場の継続的な利用と安全で快適な自転車環境の向上を目的として塗装改修工事を実施します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>平成3年に実施された大規模な塗装改修工事からすでに20年が経過しており、利用頻度の高い有料施設である当施設を長期的に継続使用するために塗装改修工事を行います。</p> <p>1 所在地：大田区大森北1丁目1番・12番先</p> <p>2 工事スケジュール：平成23年7月1日～8月31日予定</p> <p>【参考】平成22年度利用実績</p> <p>定期利用募集倍率 2.8倍</p> <p>定期利用数 915台</p> <p>平均当日利用数 510台（定数199台）</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課</p> <p>課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626</p> <p>担当者氏名 吉原 康子 電話 5764-0630</p>

【6】魅力あるまちづくり (13)

<p>事業名</p>	<p>洗足池駅・大岡山駅放置防止指導業務委託</p>
<p>予算額</p>	<p>923万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>駅周辺で放置防止指導員が、自転車等放置禁止区域であることを区民にお知らせし、自転車の放置を防止します。あわせて啓発用の注意札の貼付や誘導等放置自転車対策を実施し、安全な歩道づくりをめざします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>洗足池駅・大岡山駅の放置自転車対策のため、放置防止指導業務委託を実施し、放置防止指導員を配置します。</p> <p>配置された放置防止指導員が、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で自転車放置防止の指導や誘導等を行います。</p> <p>放置防止指導員配置駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川台駅 ・雪が谷大塚駅 ・御嶽山駅 ・久が原駅 ・洗足池駅 ・大岡山駅
<p>問合先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課</p>
	<p>課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 3726-4319</p>
	<p>担当者氏名 大場 修 電話 3726-4308</p>

【6】魅力あるまちづくり（14）

事業名	糀谷駅前環八自転車駐車場（無料制から登録制への移行）
予算額	1, 1 2 1 万円
事業のねらい	<p>収容台数を大幅に超える歩道上の自転車を整理し、歩行者等の安全を確保するため、無料制から登録制に暫定的に移行します。</p>
事業概要	<p>自転車利用希望者を募集し、抽せんにより登録された方のみが利用できることとします。</p> <p>同時に、自転車駐車場の整理を行うことにより、歩行者の安全を確保します（募集枠は1,000台）。</p> <p>1 自転車整理員の常時配置。（年末年始除く）</p> <p>2 自転車利用等について看板、シールによる啓発。</p> <p>※ 今回の措置は、京急電鉄の高架化が完了するまでの暫定的なものです。</p> <p>参考 設計台数 793 台</p> <p>実際の駐車台数：平成 19 年度（平均）：1,579 台 平成 20 年度（平均）：1,586 台 平成 21 年度（平均）：1,540 台</p>
問合先	<p>担当課 都市基盤整備部 糀谷・羽田まちなみ維持課</p>
	<p>課長氏名 青木 重樹 電話 3 7 4 1 - 3 1 5 4</p>
	<p>担当者氏名 浅野 俊彦 電話 3 7 4 1 - 3 1 8 7</p>

【6】魅力あるまちづくり (15)

<p>事業名</p>	<p>蒲田陸橋(環八)の補修工事に伴う 蒲田駅西口環八下自転車駐車場の整備</p>
<p>予算額</p>	<p>1億310万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>東京都が行う蒲田陸橋の補修工事のため、大田区が代用地を借用して置場を運用している機会を活用し、蒲田駅西口環八下自転車駐車場を一部二層化することで蒲田駅周辺での置場不足を改善します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>東京都は、平成 22～23 年度にわたって蒲田陸橋の老朽化に対する補修工事を行っています。</p> <p>大田区は、この環八陸橋の下に東京都から道路占用許可を受けて蒲田駅西口環八下自転車駐車場を設置し運営しています。このため、大田区では東京都の補修工事に合わせて置場を移転するため、置場の半分のスペースにあたる代用地を借地しています。</p> <p>この蒲田駅西口周辺では約 3,300 台の置場が不足していることが平成 19 年度の調査で判明しています。</p> <p>このため、代用地を借地している機会を活用し、蒲田駅西口環八下自転車駐車場の一部を二層化して約 300 台の収容台数を拡充します。</p> <p><参考></p> <p>現在の収容台数 合計 1,808 台（東側 702 台、西側 1,106 台） 二層化後の収容台数 合計 2,132 台（東側 1,026 台、西側 1,106 台）</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課</p> <p>課長氏名 秋山 太郎 電話 5 7 1 3 - 2 0 1 0</p> <p>担当者氏名 貝塚 悟 電話 5 7 1 3 - 2 0 0 4</p>

【6】魅力あるまちづくり (16)

<p>事業名</p>	<p>(仮称) 南馬込二丁目緑地整備 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>2, 800万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>当地は、通称「馬込自然林」と呼ばれている樹林地で、都市部に残された数少ない緑地です。この樹林地を貴重な都市緑地として後世に引き継ぐとともに緑を保全し区民が親しめるふれあいの場として整備します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>都市に残された貴重な樹林地を保全するための工事と、既存の土留めの再整備、階段・散策路の整備、サイン設置工事等を行います。完成後は、林内散策、自然観察、環境学習の場として活用する予定です。</p> <p>1 所在地：南馬込二丁目 11 番（通称 馬込自然林）</p> <p>2 整備面積：約 1,400 m²（寄付地 450 m²、元国有地 952 m²）</p> <p>3 整備の主な内容 石積による土留め設置、自然散策路の設置、樹林紹介のサイン設置等</p> <p>※ 本事業は、都市公園法に定める「都市緑地」として都市計画決定しており、国庫補助事業として実施するものです。</p> <p>※ 本整備地は、地元住民の方からの寄付地と区購入地で実施されます。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課</p> <p>課長氏名 小出 和男 電話 5764-0689</p> <p>担当者氏名 森下 太郎 電話 5764-0705</p>

